

まちだの子ども施策

2009（平成21）年度

町田市子ども生活部

「まちだの子ども施策 2009 年度」について

- 本書は、町田市の子どもの状況や子ども施策の概要をまとめたものです。
- 本書は、「町田市子どもマスタープラン」（2005 年度からの 10 年計画）の進捗状況を報告するものです。
- 本書は、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「町田市次世代育成支援対策推進行動計画」の措置の実施状況を報告するものです。
- 子ども施策に基づく事業は、主に 2008 年度実施されたものを掲載しています。
- 人口や保育園の入所者数等のデータは、主に 2009 年 4 月 1 日現在のものを掲載しています。

目 次

| | |
|--|----|
| 1. 2009年度 子ども生活部長の仕事目標 | 1 |
| (1) 子ども生活部の使命・基本方針 | 1 |
| (2) 子ども生活部の現状 | 1 |
| (3) 子ども生活部の課題 | 2 |
| (4) 子ども生活部の中・長期目標 | 2 |
| 2. 町田市の概要 | 4 |
| (1) 東京都における位置等 | 4 |
| (2) 町田市の人口 | 5 |
| (3) 町田市の子どもの人口と出生数 | 7 |
| (4) 就学前児童の状況 | 10 |
| 3. 町田市の子ども施策の体系 | 11 |
| (1) 町田市中期経営計画 重点プラン（抜粋） | 11 |
| 戦略目標3 子育て・保健福祉のまちの創造 | |
| 重点施策3-1 保育所の入所待機児童を解消する | 11 |
| 重点施策3-2 子育て家族を支える | 12 |
| 重点施策3-3 多様な体験ができる機会を充実する | 13 |
| (2) 町田市基本構想・基本計画（抜粋） | 14 |
| (3) 町田市子どもマスタープラン | 15 |
| (4) 町田市子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標 | 16 |
| (5) 町田市子どもマスタープランの施策体系 | 18 |
| 4. 子どもマスタープランに基づく各施策の取り組み | 19 |
| ・基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている | 20 |
| ・重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる | 20 |
| ・個別目標1 コミュニケーション能力を育てる | 20 |
| ・個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる | 21 |
| ・個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する | 22 |
| ・重点目標2 大人になっていく力がつくようにする（市民性の形成を育む） | 23 |
| ・個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる | 23 |
| ・個別目標2 幼児教育を充実させる | 23 |
| ・個別目標3 学校教育を充実させる | 23 |
| ・個別目標4 思春期の子どもの心と体の健康教育を充実する | 24 |
| ・個別目標5 体験活動から学ぶようにする（文化・スポーツ活動等） | 25 |
| ・基本目標Ⅱ 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている | 28 |
| ・重点目標1 親になる力を身につける | 28 |

| | | |
|------------------------------|--|-----------|
| ・個別目標1 | 親スタート期を支える | 28 |
| ・個別目標2 | 子育て期を支える | 29 |
| ・個別目標3 | 男女共同の子育てを進める | 31 |
| ・個別目標4 | 親の悩みを支える | 32 |
| ・重点目標2 | 親が働くことを支える | 33 |
| ・個別目標1 | 保育支援 | 33 |
| ・個別目標2 | サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実 | 36 |
| ・重点目標3 | きめ細やかな支援が必要な家族を支える | 37 |
| ・個別目標1 | 障がいのある子どもと家族への支援 | 37 |
| ・個別目標2 | ひとり親家庭への支援 | 38 |
| ・個別目標3 | 外国籍家族への支援 | 38 |
| ・個別目標4 | 被虐待児（DV 家族児童を含む）と家族への支援 | 39 |
| ・基本目標Ⅲ | 子どもが地域の中で大切にされている | 40 |
| ・重点目標1 | 人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働） | 40 |
| ・個別目標1 | 地域の人材育成と人材活用 | 40 |
| ・個別目標2 | 地元事業所・商店の関わり | 41 |
| ・個別目標3 | 体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす） | 41 |
| ・個別目標4 | 交流できる場（子どもや子育てをしている人がふれあい情報交換できる場をふやす） | 43 |
| ・個別目標5 | 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり | 44 |
| ・重点目標2 | 一人ひとりに情報が確実に届く | 44 |
| ・個別目標1 | 子どもと親への情報を確保する | 44 |
| ・重点目標3 | みんなで安全・安心のまちをつくる | 45 |
| ・個別目標1 | 子どもの安全・安心を確保する | 45 |
| ・個別目標2 | 子育てしやすいまちづくりをする | 46 |
| 5. 特定12事業における実績と目標事業量 | | 47 |
| 6. 町田市の組織 | | 58 |

巻末資料

- (1) 保育園位置図 一覧表
- (2) 学童保育クラブ／子どもセンター／子どもクラブ位置図 一覧表
- (3) 幼稚園位置図 一覧表

1. 2009年度 子ども生活部長の仕事目標

子ども生活部長 浅野 正

（1）部の使命・基本方針

- 子どもたちが健やかに育ち、子育てが楽しくできるまちは、人もまちも輝く、「希望があふれるまち」です。すべての子どもたちの健やかな成長は当事者である「親・家族」と「地域社会」の役割・責務であり、子どもたちが地域の『タカラ』として生まれ明日の地域社会を責任を持って積極的に担えるよう、年齢・年代に応じた包括的かつ多様な『次世代育成支援』を推進します。
- 首都東京の近郊通勤圏に位置し、魅力ある住宅商業文化都市としての町田市を意識するとともに、多摩丘陵の緑豊かな自然と市民活動が活発に行われている実績やこれまでの所産に着目して、市民＝顧客の多様なニーズに応える品質の高いサービスを創意工夫により提供し、すべての子どもたちの成長を親・家族・社会の全体で支える「子育てのまちの創造」を推進します。

（2）子ども生活部の現状

- 次世代育成支援対策推進法に基づく「子どもマスタープラン」の中間見直しは、進捗状況の評価とともに社会状況等の変化や中期経営計画を見据えた見直し作業を行っています。
- 未就学児童を対象とした2008年4月1日現在の保育サービスについては、認可保育所（定員4,398名）・認証保育所（定員225名）・保育室（定員24名）・家庭福祉員（定員18名）、認定こども園、幼稚園の預かり保育などを行っていますが、保護者の就労希望等の新たなニーズに追いつかず、待機児童の解消には至っていません。
- 放課後の校庭開放や地域子ども教室、冒険遊び場などのいわゆる子どもの居場所的な活動は、学校施設や公園等を利用して市民により継続的に行なわれているところですが、子どもが安全に安心して活動できる「子どもの居場所」や「子どもの体験活動支援」の充実が求められています。
- 主に小学校の低学年児童を対象とした学童保育クラブは、1小学校区1施設を目標に2008年4月現在39施設を設置し、残る2校区と新設の岡師小学校の施設も今年度中に整備が完了しますが、入所希望児童数が増加しており、入所児童数が71名を超える施設が14カ所、そのうち100名を超える施設が6カ所もあるなど改善が望まれています。
- 「子どもセンター」は市内5カ所を目標に整備を進めており、2009年には、3カ所目の「相原子どもセンター」がオープンする予定です。
- 子育てに関する親・家族の悩みや問題は、複雑多岐にわたっており、単独の窓口で解決することが困難になりつつあります。

(3) 子ども生活部の課題

- 中期経営計画「重点政策プラン」・「行政経営改革プラン」の担い手として、町田市における子ども施策の一元化を生かした部経営が求められています。
- 保育園や学童保育クラブの入所希望児童数は、増加しており、施設の新設・建て替え・増築等の計画的な施設改善と運営の見直し・最適化や基幹保育園構想の構築など、子育て支援に関する総合的・包括的な施策が求められています。
- 主役である子どもの声や地域における市民の意見等を反映した、子どもが安全に安心して活動できる「子どもの居場所づくり」や自然の中での遊び・体験を通じての「子ども体験活動支援」などが求められています。
- 子どもを支援する機関が連携し、子どもや家族の状況に応じた適切かつ一貫した相談や支援をすることができる機能の強化・充実が求められています。
- 市民サービスの充実を目指して事務効率の向上と職場の働く環境を改善するため、部内組織の見直しと人材活用、時間外勤務の縮減など具体的な取り組みが必要です。

(4) 子ども生活部の中・長期目標

【重点目標】

● 保育サービスの充実と子育て相談に応える取り組み

| | 内 容 | 達成状態 | 達成時期 |
|---|---------------------------------------|-----------------|---------------|
| 1 | 保育サービス4ヶ年計画の策定 | 計画策定 | 2009年度 |
| 2 | 認可保育園の整備→20年間期間限定認可保育園＝新築3園・改修4園の設備など | 519名定員増 | 2009年度～2010年度 |
| 3 | 認定こども園の整備→1カ所設備支援 | 1カ所新設 | 2009年度～2010年度 |
| 4 | 預かり保育事業の充実→2カ所新規開設 | 2カ所新設 | 2009年度 |
| 5 | 公立保育園の運営最適化と基幹保育園構想の構築 | 検討委員会の立ち上げと構想着手 | 2009年度～2010年度 |

●子どものニーズに応える多様な取り組み

| | 内 容 | 達成状態 | 達成時期 |
|---|--|--|---------------|
| 1 | 子どもの居場所づくり＝「放課後子ども教室」「地域子ども教室」「冒険遊び場」等の推進 | 全小学校で放課後子ども教室＝「校庭遊び場見守り事業」や「地域子ども教室」などの『子どもの居場所づくり』を実施 | 2009年度～2010年度 |
| 2 | 子どもの体験活動の支援→子どもセンター・ひなた村・大地沢青少年センターや自然休暇村などで実施 | 各施設利用者前年度比 10%増 | 2009年度～2010年度 |

【マネジメント目標】

●部の経営品質を向上する取り組み

| | 内 容 | 達成状態 | 達成時期 |
|---|--------------------------------------|----------------------------|---------------|
| 1 | 部経営会議の設置と子ども総務課の総務担当課としての機能強化 | 部内会議及び部経営会議の進行、管理 | 2009年度 |
| 2 | 部内組織の見直しと事務効率の向上 | 部内組織の見直しと組織改革 | 2009年度～2010年度 |
| 3 | 部内プロジェクトチームの設置とプロジェクトチームによる課題解決 | プロジェクト成果発表会の実施 | 2009年度 |
| 4 | 市民サービスのより一層の充実向上と人材育成 | 現場宿泊研修や視察見学等、職員研修と実践報告会の実施 | 2009年度 |
| 5 | 学識経験者と行政職員による、公立保育園の運営最適化と基幹保育園構想に着手 | 検討委員会の立ち上げと構想に着手 | 2009年度～2010年度 |
| 6 | 大地沢青少年センター・ひなた村・自然休暇村の経営戦略の検討研究 | 各施設の経営戦略の検討、結果の報告 | 2009年度 |

（注）重点目標とは、政策課題や重点事業に視点を置いた目標であり、マネジメント目標とは組織内部の効率化や生産性の向上に視点を置いた目標です。

（注）「部長の仕事目標」は、2006年度よりスタートした制度です。町田市公式ホームページの「トップページ」→「市の取り組み」→「部長の仕事目標」からもご覧いただくことができます。

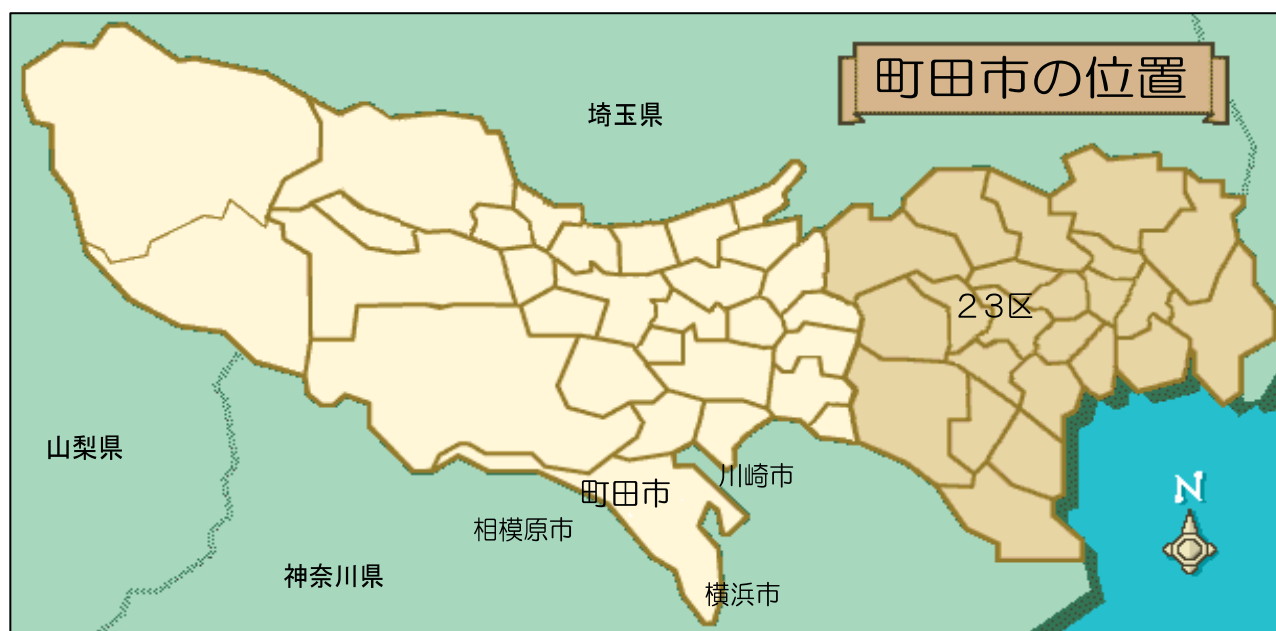
<http://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/torikumi/buchomani/index.html>

2. 町田市の概要

| | 内 容 |
|-----------|---|
| 市 政 施 行 | 1958年2月1日東京都で9番目、全国で504番目に市制施行。 |
| 位 置 ・ 地 勢 | 東京都の南端にあって、半島のように神奈川県に突き出ています。市のほぼ全域が多摩丘陵に含まれ、市域の平面形は丘陵の西南線に沿う狭長な形態になっています。地質は、主として表面5～15mの関東ローム層におおわれています。 |
| 広 ば う | 東西 22.3 km 南北 13.2 km |
| 海 抜 | 最高 364m 最低 27m |
| 面 積 | 71.63k m ² |
| 世 帯 数 | 179,923 世帯（2009年4月1日現在） |
| 人 口 | 420,620 人（2009年4月1日現在） |
| 人 口 密 度 | 5,872 人/k m ² （2009年4月1日現在） |

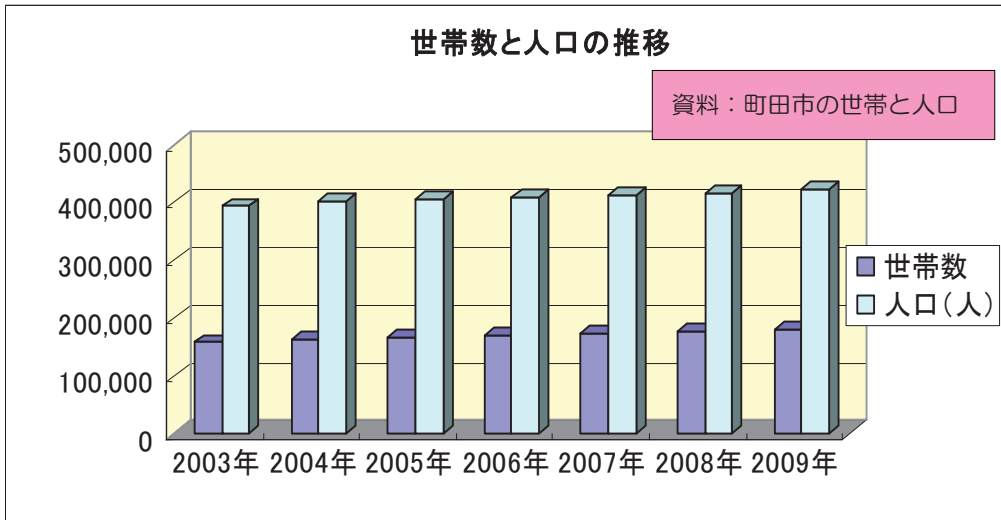
*世帯数・人口・人口密度には外国人を含みます。

（1）町田市の位置



(2) 町田市の人口

人口と世帯数の推移 (単位：人 各年1月1日現在 外国人を含む)

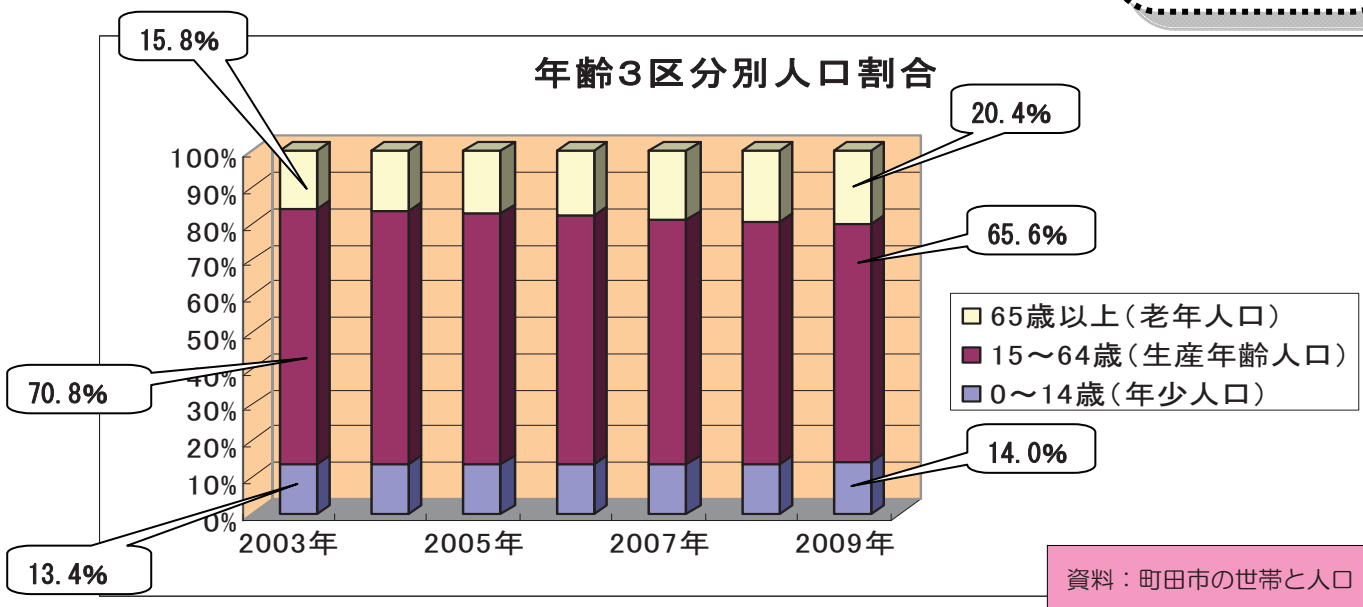


町田市の人口は、市制施行以来増加しています。1958（昭和33）年の市制施行時の人口は、約6万1千人でしたが、2008年には約41万7千人となり、市制施行時の6.8倍になっています。

| 年 | 区分 | 世帯数 | 人 | | |
|------|----|---------|---------|---------|---------|
| | | | 総数 | 男 | 女 |
| 2003 | | 158,536 | 393,666 | 195,489 | 198,177 |
| 2004 | | 163,325 | 401,672 | 199,154 | 202,518 |
| 2005 | | 166,583 | 406,281 | 201,065 | 205,216 |
| 2006 | | 169,364 | 409,017 | 202,328 | 206,689 |
| 2007 | | 173,085 | 413,176 | 204,379 | 208,797 |
| 2008 | | 176,197 | 416,693 | 205,896 | 210,797 |
| 2009 | | 179,290 | 419,816 | 207,434 | 212,382 |

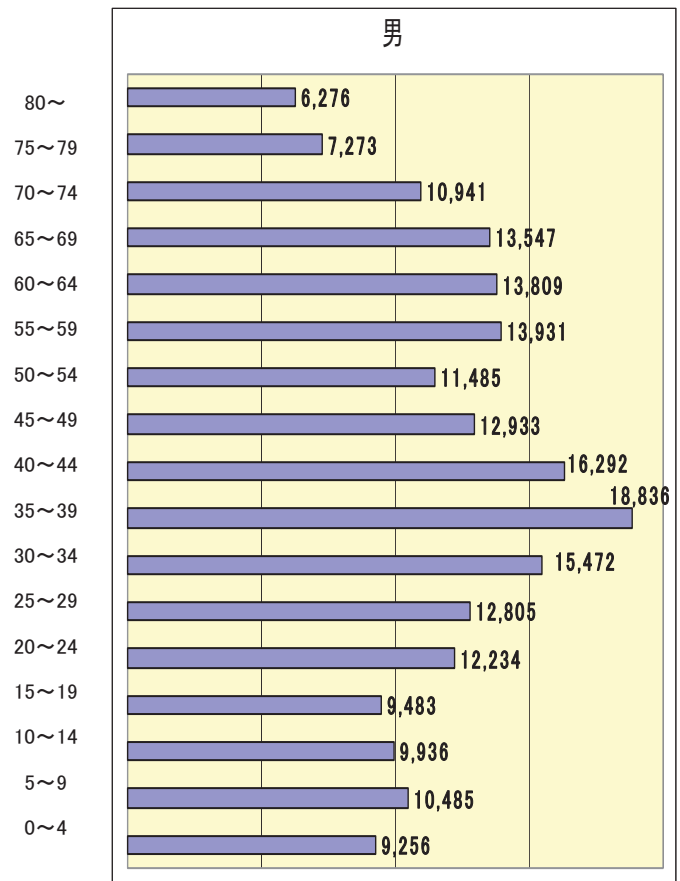
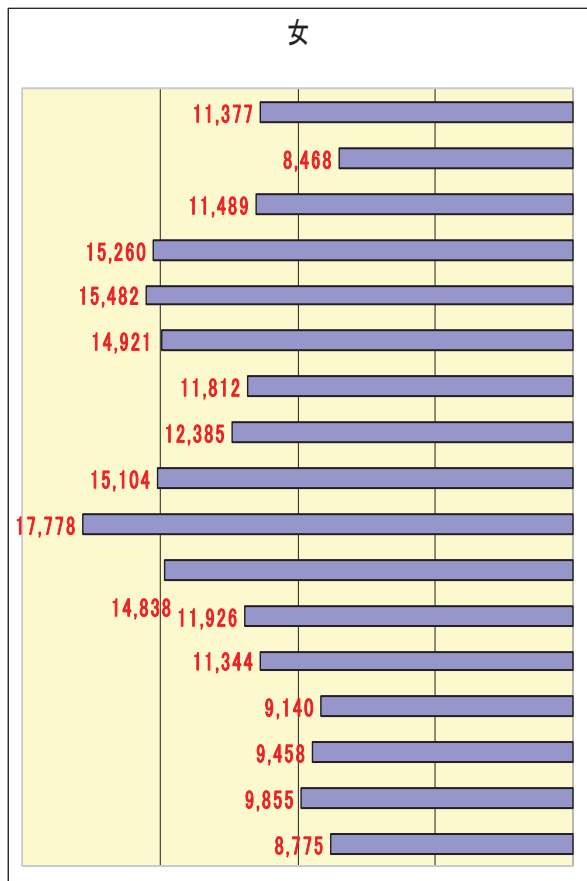
町田市の年齢3区分別人口割合では、65歳以上の高齢者の占める割合が年々増加しています。0～14歳の年少人口は、微増を続けていますが、15～64歳の生産年齢人口は、減少しています。

資料：町田市の世帯と人口



年齢階級別人口（単位：人 2009年1月1日現在 外国人を含まず）

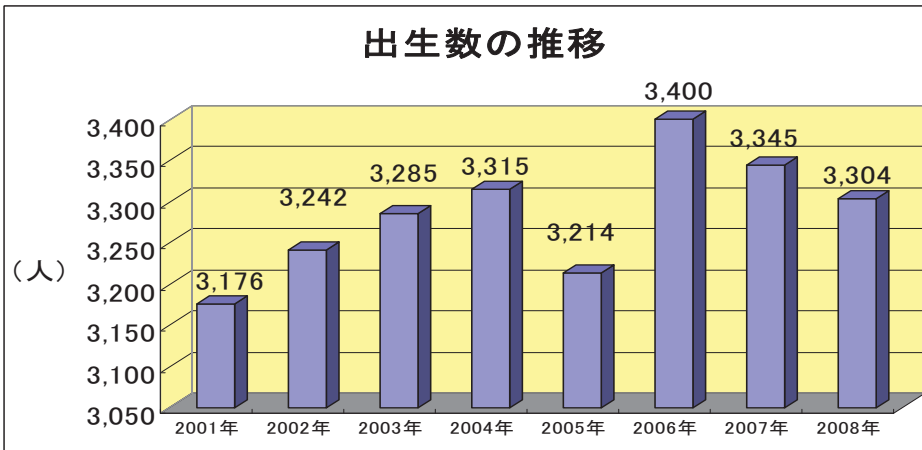
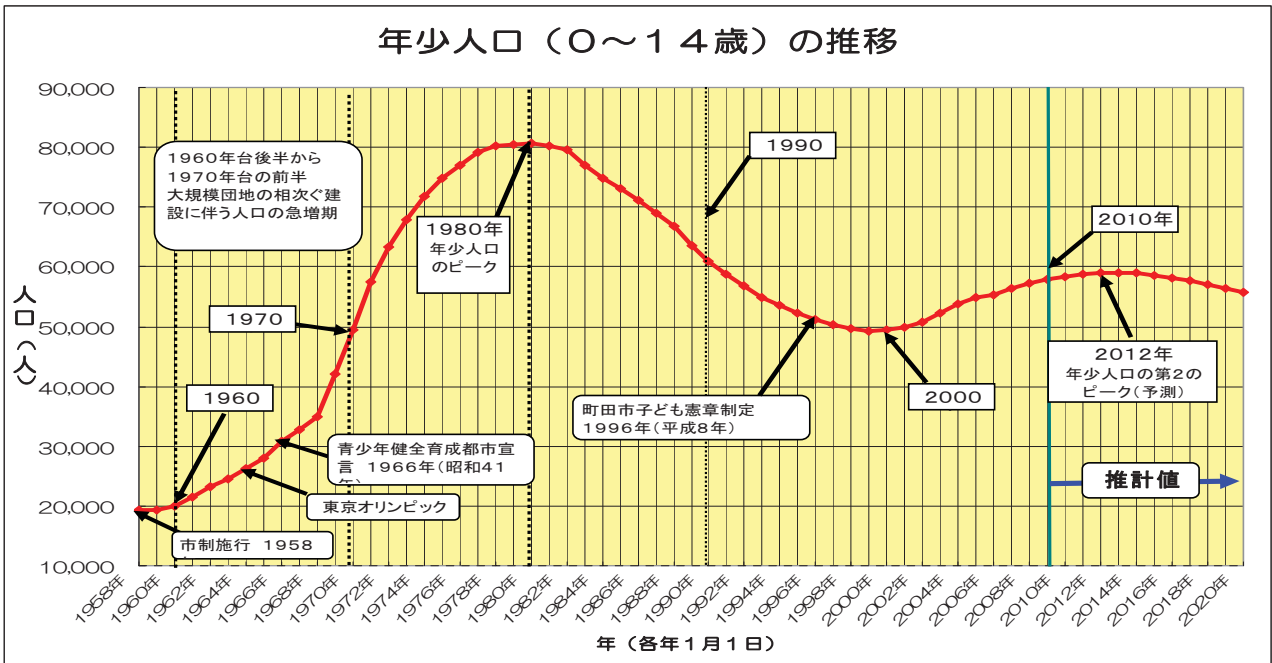
| 年齢区分 | 総数 | 男 | 女 | 年齢区分 | 総数 | 男 | 女 |
|-------|--------|--------|--------|-------|---------|---------|---------|
| 0～4 | 18,031 | 9,256 | 8,775 | 45～49 | 25,318 | 12,933 | 12,385 |
| 5～9 | 20,340 | 10,485 | 9,855 | 50～54 | 23,297 | 11,485 | 11,812 |
| 10～14 | 19,394 | 9,936 | 9,458 | 55～59 | 28,852 | 13,931 | 14,921 |
| 15～19 | 18,623 | 9,483 | 9,140 | 60～64 | 29,291 | 13,809 | 15,482 |
| 20～24 | 23,578 | 12,234 | 11,344 | 65～69 | 28,807 | 13,547 | 15,260 |
| 25～29 | 24,731 | 12,805 | 11,926 | 70～74 | 22,430 | 10,941 | 11,489 |
| 30～34 | 30,310 | 15,472 | 14,838 | 75～79 | 15,741 | 7,273 | 8,468 |
| 35～39 | 36,614 | 18,836 | 17,778 | 80歳以上 | 17,653 | 6,276 | 11,377 |
| 40～44 | 31,396 | 16,292 | 15,104 | 総計 | 414,406 | 204,994 | 209,412 |



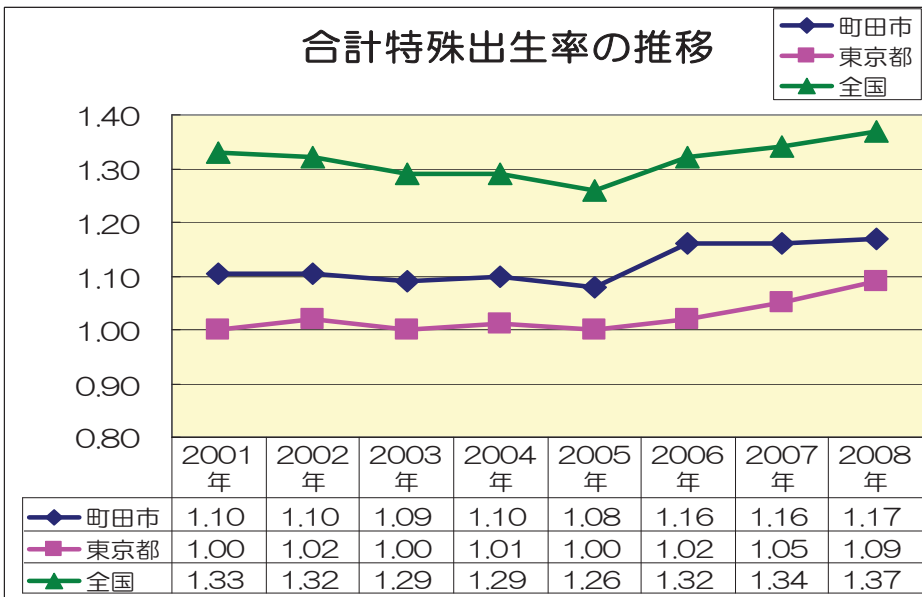
資料：町田市の世帯と人口

男女ともに60～64歳と35～39歳の二つの人口のピークがあります。20歳以下の人口は、各階級とも20歳以上の人口を大きく下回っており、この世代の人口は、今後も減少していくことが予想されます。

(3) 町田市の子どもの人口と出生数



町田市の出生数は、2005年に減少に転じた後、2006年には、全国的な出生数の増加に伴い、大幅に増加しました。しかし、この年をピークに減少に転じています。また、年少人口(0～14歳)も、数年のうちに減少に転じるものと予測されています。



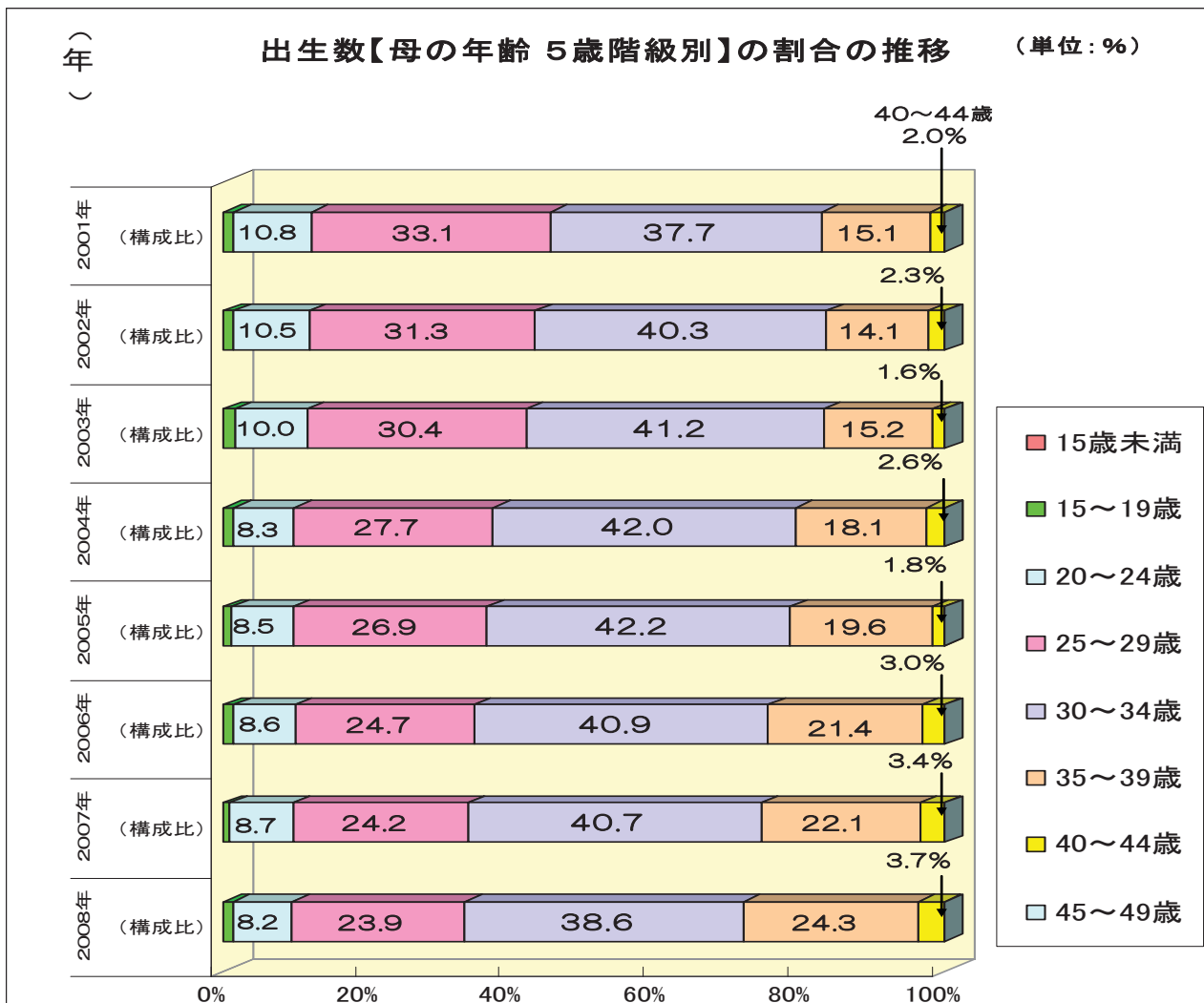
合計特殊出生率
15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数の数に相当する。

資料：東京都人口動態統計

【母の年齢 5歳階級別】

| 年度 | 計 | 15歳未満 | 15～19歳 | 20～24歳 | 25～29歳 | 30～34歳 | 35～39歳 | 40～44歳 | 45～49歳 |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2008年 | (構成比) | 0.0 | 1.3 | 8.2 | 23.9 | 38.6 | 24.3 | 3.7 | 0.0 |
| 2007年 | (構成比) | 0.0 | 0.8 | 8.7 | 24.2 | 40.7 | 22.1 | 3.4 | 0.1 |
| 2006年 | (構成比) | 0.0 | 1.3 | 8.6 | 24.7 | 40.9 | 21.4 | 3.0 | 0.1 |
| 2005年 | (構成比) | 0.0 | 1.0 | 8.5 | 26.9 | 42.2 | 19.6 | 1.8 | 0.0 |
| 2004年 | (構成比) | 0.0 | 1.3 | 8.3 | 27.7 | 42.0 | 18.1 | 2.6 | 0.0 |
| 2003年 | (構成比) | 0.0 | 1.4 | 10.0 | 30.4 | 41.2 | 15.2 | 1.6 | 0.0 |
| 2002年 | (構成比) | 0.0 | 1.3 | 10.5 | 31.3 | 40.3 | 14.1 | 2.3 | 0.0 |
| 2001年 | (構成比) | 0.0 | 1.3 | 10.8 | 33.1 | 37.7 | 15.1 | 2.0 | 0.0 |

資料：東京都人口動態統計



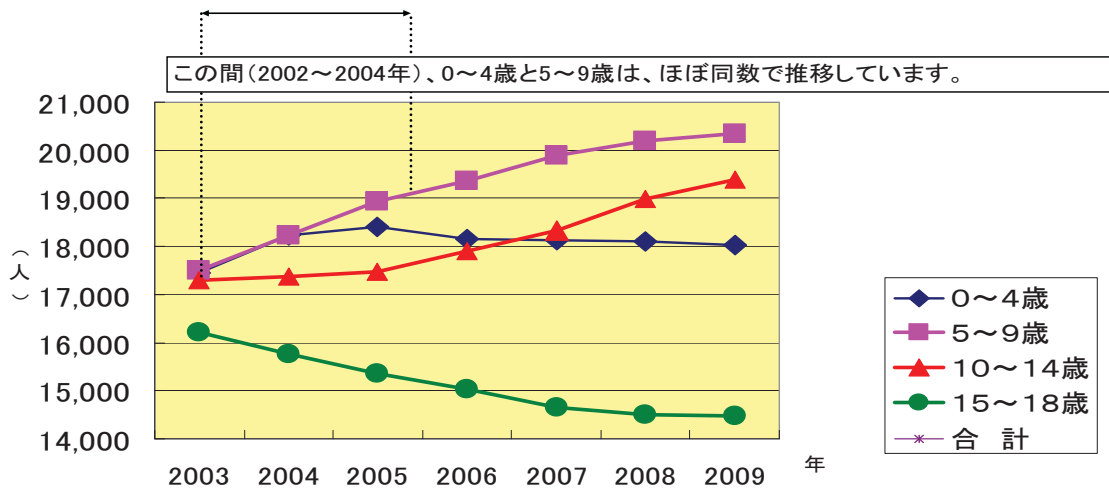
20歳代までの出産の割合は減少しています。2001年には、約45%が20歳代までの出産でしたが、2007年には、約34%にまで減っています。一方、30歳以上の出産の割合は年々増加しており、2008年には約66%が30歳以上での出産となっています。

【児童人口（0～18歳）の推移】

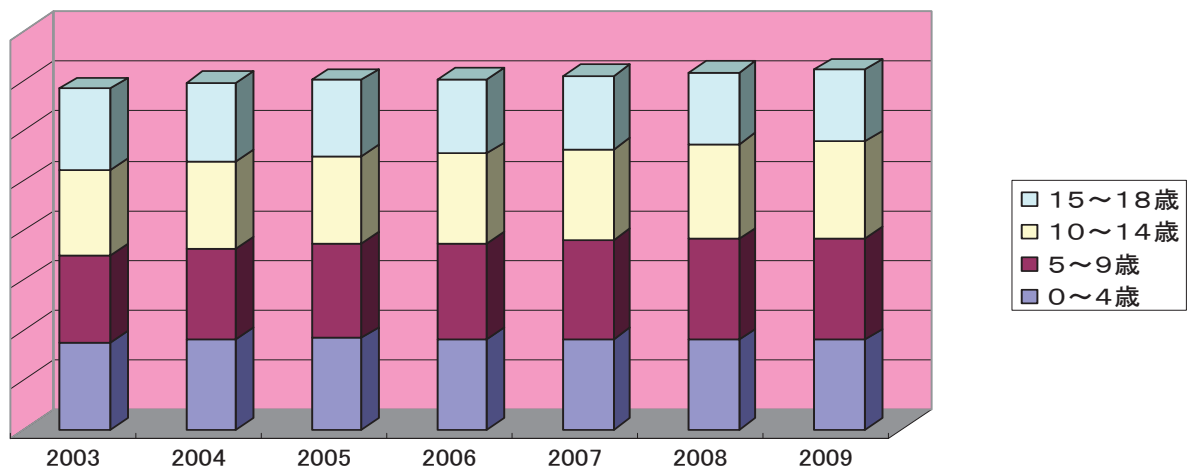
各年1月1日現在（人）

| | 0～4歳 | 5～9歳 | 10～14歳 | 15～18歳 | 合計 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2002 | 16,595 | 16,713 | 17,514 | 16,466 | 67,288 |
| 2003 | 17,442 | 17,507 | 17,305 | 16,210 | 68,464 |
| 2004 | 18,223 | 18,226 | 17,386 | 15,757 | 69,592 |
| 2005 | 18,412 | 18,924 | 17,481 | 15,366 | 70,183 |
| 2006 | 18,164 | 19,353 | 17,896 | 15,027 | 70,440 |
| 2007 | 18,142 | 19,901 | 18,336 | 14,667 | 71,046 |
| 2008 | 18,103 | 20,195 | 18,979 | 14,493 | 71,770 |
| 2009 | 18,031 | 20,340 | 19,394 | 14,473 | 72,238 |

児童人口（0～18歳）の推移

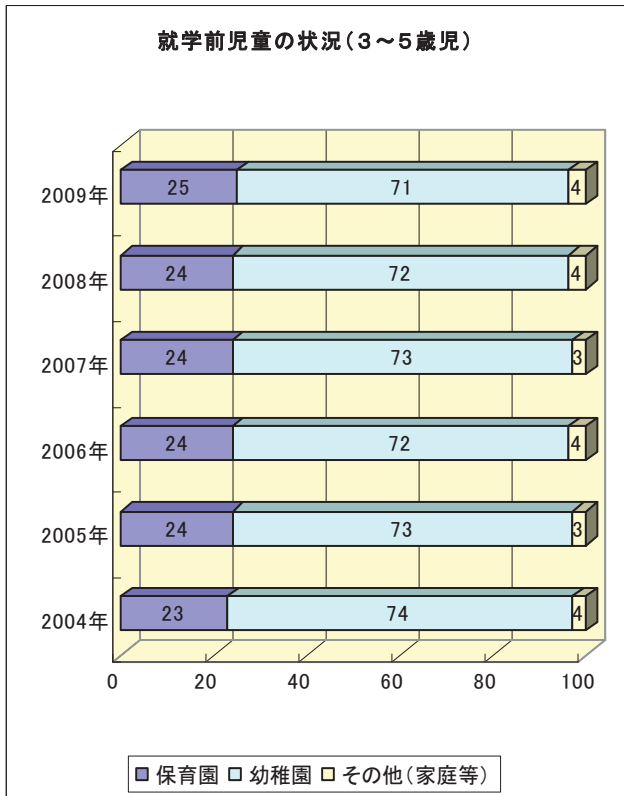
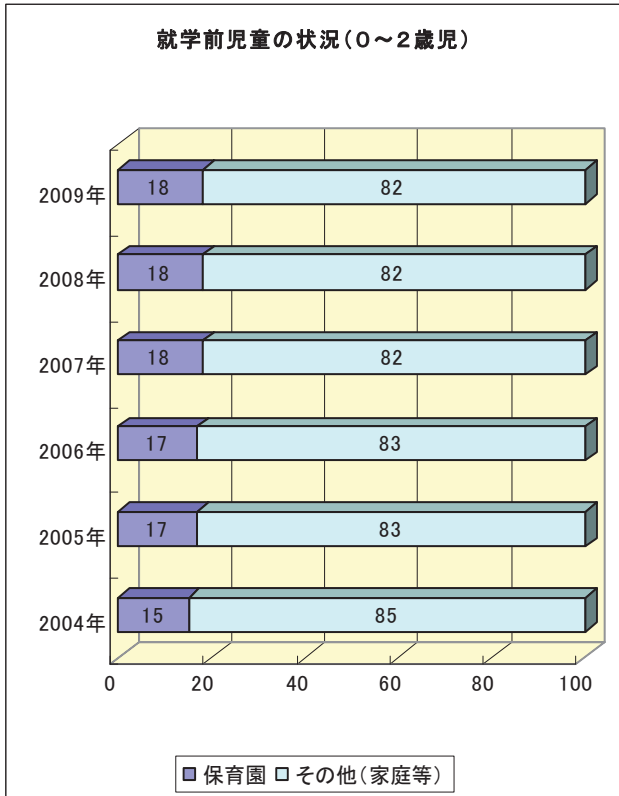


児童人口の推移（0～18歳）



児童人口（0～18歳）は、全体的には微増が続いていますが、15～18歳は減少しています。一方、5～14歳の小・中学生の人口は、増加を続けています。しかし、0～4歳の人口は、2005年をピークに減少に転じており、数年後には児童人口全体が減少に転じるものと予測されます。

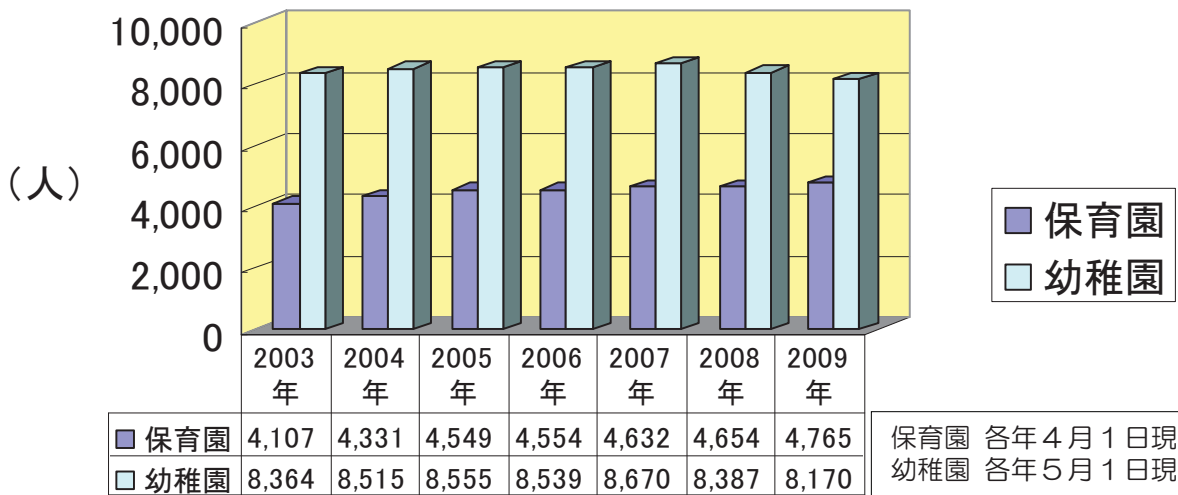
(4) 就学前児童の状況 (基準日: 2009年 単位: %)



資料: 子ども生活部子育て支援課・子ども総務課

0~2歳では、80%以上の子どもが、家庭で保護者と過ごしています。3~5歳児になると全体の約3/4の71%の子どもが幼稚園に通園し、約1/4の25%の子どもが保育園に通園しています。

保育園・幼稚園在籍園児数の推移



保育園 各年4月1日現在
幼稚園 各年5月1日現在

3. 町田市の子ども施策の体系

（1）町田市中期経営計画 重点プラン(抜粋)

戦略目標3 子育て・保健福祉のまちの創造

重点施策3-1 保育所の入所待機児童を解消する

～ 施策の取り組みの方向～

保育園や認可外保育施設などの定員を増員し、待機児童の解消を進めるとともに、様々な子育てのニーズに応じたサービスを提供できるよう、幼稚園や民間の保育園と協力して、サービスの一層の充実を図ります。

～ 成果指標～

| 成果指標 | 現状値 | 目標値 |
|----------|-------------------|-----|
| 保育所待機児童数 | 234人 (2008年4月) | 0人 |

■重点事業3-1-1 保育園整備

| | | | |
|-------|---|-----|--------|
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んだ市立保育園の建て替え整備を進めます。 ・私立保育園の新設、および建て替え整備に対する支援を行います。 | | |
| 目 標 | 保育園入所定員<庁内資料> | | |
| 現 状 値 | 4,398人 (2008年4月) | 目標値 | 4,558人 |

■重点事業3-1-2 認可外保育施設*1運営支援

| | | | |
|-------|---|-----|------|
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・認可外保育施設を新設、および運営する事業者に対する支援を行います。 ・認可外保育施設に子どもを預ける家庭に対する経済的支援を行います。 | | |
| 目 標 | 認可外保育施設入所児童数<庁内資料> | | |
| 現 状 値 | 213人 (2008年4月) | 目標値 | 296人 |

*1 【認可外保育施設】 施設や保育内容など東京都の基準を満たした保育施設のことをいいます。

■重点事業3-1-3 幼稚園児預かり事業

| | | | |
|-------|--|-----|---------------|
| 事業概要 | ・長時間の園児預かりサービスを行う幼稚園や、保育と教育の一体的なサービスを提供する幼稚園・保育園に対する支援を行います。 | | |
| 目 標 | ① 預かり保育実施幼稚園数（注）<庁内資料> ② 認定子ども園数<庁内資料> | | |
| 現 状 値 | ① 7園 ② 1園 | 目標値 | ① 11園 ② 5園 |

（注）町田市の補助基準を満たしている幼稚園数です。

重点施策3-2 子育て家族を支える

～ 施策の取り組みの方向～

子育て家族が安心して子育てができるよう、子育てに関する相談や、親同士が情報交換できる機会の提供のほか、学童保育クラブの整備を進めます。

また、虐待に対する対処や障がいを持つ児童の子育てには、専門的なアドバイスや支援機能をさらに充実します。

～ 成果指標～

| 成果指標 | 現状値 | 目標値 |
|--------|-------|-----|
| 児童虐待件数 | 122 件 | ↓ |

■重点事業3-2-1 子育て相談

| | | | |
|------|--|-----|---------------|
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待や育児放棄の原因ともなる子育ての不安や負担を軽減するため、不安や疑問を気軽に相談できる機会や、専門的なアドバイスを受けられる機会を提供します。 ・子育て家族が気軽に集え、保育士や家族同士が交流、相談ができる機会を提供します。 ・児童虐待などの深刻な事態により迅速に対処するため、体制の強化に向けて東京都に働きかけます。 | | |
| 目 標 | ①子ども家庭支援センター相談件数<町田市の子ども施策> ②在宅子育て家庭支援実施保育園数<庁内資料> | | |
| 現状値 | ① 1,003 件 ② 24 園 | 目標値 | ① ↑ ② 33 園 |

■重点事業3-2-2 乳幼児の発達支援

| | | | |
|------|------------------------------|-----|---------------|
| 事業概要 | 発達に遅れや心配のある乳幼児の療育のあり方を検討します。 | | |
| 目 標 | 療育内容、療育体制の再構築 | | |
| 現状値 | 出張相談を実施しました。 | 目標値 | 2009 年度基本方針作成 |

■重点事業3-2-3 学童保育クラブ整備

| | | | |
|------|---|-----|---|
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての小学校区に学童保育クラブを整備します。 ・100 名を超える児童が入所し、大規模化している学童保育クラブについて増築などの整備を行い狭あい化を解消します。 | | |
| 目 標 | ① 学童保育クラブ施設数(注) <まちだの子ども施策> ② 大規模学童保育クラブ施設数<庁内資料> | | |
| 現状値 | ① 39 施設/40 小学校区 (2008 年 4 月) ② 6 施設 | 目標値 | ① 42 施設/41 小学校区 (2009 年 4 月) ② 0 施設 |

(注) つるっこ学童保育クラブ(子どもセンターつるっこ施設内)を含みます。

※ 重点事業3-3-2「放課後子ども教室」の施策と調整を図り進めます。

重点施策3-3 多様な体験ができる機会を充実する

～ 施策の取り組みの方向～

地域や学校による農業体験や水辺体験などの実施のほか、子どもが自ら考え、自分達で主体的に活動できる体験の場を、子ども達の行動圏内に整備します。

～ 成果指標～

| 成果指標 | 現状値 | 目標値 |
|--|-------|-----|
| 小学生～中学生の保護者のうち、野外体験やボランティアの活動に参加した子どもを持つ保護者の割合 ＜市民意識調査＞ | 32.7% | 60% |

■重点事業3-3-1 子どもセンター整備

| | | | |
|------|---------------------------------------|-----|-----------------|
| 事業概要 | ・子育て家族や、様々な年齢の子どもが集える子どもセンターの整備を進めます。 | | |
| 目標 | 子どもセンター数＜庁内資料＞ | | |
| 現状値 | 3施設 | 目標値 | 5施設（事業着手・検討を含む） |

■重点事業3-3-2 放課後子ども教室

| | | | |
|------|--|-----|-----|
| 事業概要 | ・地域の中で最も身近な小学校の施設を利用し、すべての子どもたちが放課後にあそびやスポーツ、文化活動など様々な体験ができる放課後子ども教室を、地域と協力しながら作ります。 | | |
| 目標 | 放課後子ども教室設置小学校数＜庁内資料＞ | | |
| 現状値 | 0校 | 目標値 | 14校 |

■重点事業3-3-3 子どもの体験活動支援

| | | | |
|------|---|-----|-----|
| 事業概要 | ・子どもが自然の中で遊ぶことができる冒険遊び場を運営する民間団体を支援するとともに、青少年施設のカリキュラムを充実します。 | | |
| 目標 | 冒険遊び場の数＜庁内資料＞ | | |
| 現状値 | 3箇所 | 目標値 | 6箇所 |

(2) 町田市基本構想・基本計画(抜粋)

基本目標Ⅲ 活躍する人が育つまちをつくる

重点目標1 誰もが地域や社会で輝ける環境をつくる

○個別目標（1）充実した時間をすごせる機会を増やす

- ・ 様々な活動をする機会が得られている
- ・ 様々な文化や芸術に触れることができている
- ・ 多くの人々が、好きなことや生きがいをもっている

○個別目標（2）地域や社会で活動できる機会を増やす

- ・ 地域活動、社会活動により地域が活性化している

重点目標2 知識や能力を生かし、社会で活躍できる人を育てる

○個別目標（1）意欲や能力のある人の起業を促進する

- ・ 市内の企業活動が活発になっている
- ・ 市内で働く市民が増えている

○個別目標（2）知識社会に対応した生涯学習を活発にする

- ・ 市民が、仕事や職業に求められる知識や技術を身につけることができている
- ・ IT（情報技術）を使える人が増えている

重点目標3 次世代の社会を担う人を育てる

○個別目標（1）子どもが健やかに育つ環境をつくる

- ・ 子育てしやすい環境が整っている
- ・ 地域が子育てを見守っている
- ・ 子どもどうしが触れあっている
- ・ 子どもへの虐待がない
- ・ 子どもが増えている

○個別目標（2）子どもが様々な体験ができる機会をふやす

- ・ 子どもが自らの目標を見つけている
- ・ 子どもが自ら進んでいろいろなことに挑戦している
- ・ 子どもが地域社会との関わりを持っている

(3) 町田市子どもマスタープラン

①策定の経過

子どもを取り巻く社会状況の変化に伴い、子どもと子育て家庭への支援に対する市民のニーズが変化しており、従来の「福祉」や「教育」といった枠を超えた体制での施策推進が必要となっています。こうした状況を受け、子ども行政一元化を実施するとともに、町田市としての子ども施策の基本的な方向性を示すために「子どもマスタープラン」を策定しました。

- ・2003年11月 学識経験者、関連機関代表、公募市民等で構成される町田市子どもマスタープラン審議会に「マスタープランのあり方」を諮問。
- ・2004年8月 「子どもマスタープラン公聴会」を開催。45名の市民が参加。
- ・2004年10月 審議会が「子どもマスタープラン（案）」を市長に答申。
- ・2004年12月 子どもマスタープランを策定・公表。

●審議会の開催状況

- ・審議会（5回）
- ・専門部会（第1、第2、第3） 延べ24回（各8回）
- ・プランの当事者である子どもの意見を反映させるために設けられた「子ども委員会（公募の中高生で構成）」（10回）

●プラン作成の基礎資料とするための調査

- ・子どもマスタープラン基礎調査
- ・次世代育成支援計画調査
- ・ひとり親家庭の子育てアンケート
- ・国際結婚家庭の子育てアンケート

- 2003年7月に施行された次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第8条第1項の規定に基づき、市町村行動計画策定が義務づけられたことを受け、「町田市次世代育成対策推進行動計画」を子どもマスタープランに含め策定しました。

②子どもマスタープランの推進

子どもマスタープランは、次のように推進します。

- ・計画期間は、2005年度から10年間です。5年毎に必要な見直しを行います。
- ・子ども生活部が中心となり、関連する各課がプランに基づき推進します。
- ・子どもマスタープランに基づく推進計画の策定、推進状況の検証、総合調整は、副市長を長とする庁内組織「子どもマスタープラン推進委員会（庁内の関連する部長・課長で構成）」が担います。
- ・特に検討が必要な事項については、関連する課の職員で構成する作業部会を設置し、検討します。
- ・進捗状況について、本書「まちだの子ども施策」で毎年公表します。

（４）子どもマスタープランの基本理念・基本的視点・基本目標

（「町田市子どもマスタープラン」より抜粋）

基本理念

子どもが自分らしく安心して
暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

大人中心の暮らしや社会の価値を子どもの視点からも問い直し、子どもを支えていく社会をみんなで創り出します。

基本的な視点

（１）一人ひとりの子どもの権利実現の視点

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者と関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害がおきた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

（２）子どもと親がともに成長する視点

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまで、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組み立ててきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、ともに成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切にし、その場のみの助け合いや連携に止まらず、地域での子

育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりをし、子どもも親も地域の人々とともに、成長し合うことが必要です。

（３）地域の中で家族を孤立させない視点

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることがとても大きな力になるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

（４）市民（子どもと大人）と行政の協働を進める視点

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

基本目標 基本理念を実現するために、３つの基本目標を掲げました。

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち、
一人ひとり自分の中に光るものを持っている

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、
家族が地域とつながっている

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

（５）町田市子どもマスタープランの施策体系

基本目標Ⅰ：子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

重点目標１：子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

- 個別目標（１）：コミュニケーション能力を育てる
- 個別目標（２）：参加と意見表明の場や機会をつくる
- 個別目標（３）：救済とやり直しの場や機会を保障する

重点目標２：大人になっていく力をつける（市民性の形成を育む）

- 個別目標（１）：乳幼児期の養護の充実
- 個別目標（２）：幼児教育の充実
- 個別目標（３）：学校教育の充実
- 個別目標（４）：思春期の子どもの心と身体健康教育
- 個別目標（５）：体験活動から学ぶこと（文化・スポーツ活動等）

基本目標Ⅱ：子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標１：親になる力を身につける

- 個別目標（１）：親スタート期を支える
- 個別目標（２）：子育て期を支える
- 個別目標（３）：男女共同の子育てを進める
- 個別目標（４）：親の悩みを支える

重点目標２：親が働くことを支える

- 個別目標（１）：保育支援
- 個別目標（２）：サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

重点目標３：きめ細やかな支援が必要な家族を支える

- 個別目標（１）：障がいのある子どもと家族への支援
- 個別目標（２）：ひとり親家族への支援
- 個別目標（３）：外国籍家族への支援
- 個別目標（４）：被虐待児（DV家族児童を含む）と家族への支援

基本目標Ⅲ：子どもが地域の中で大切にされている

重点目標１：人と人が関わりつなげる場をつくる（家庭・施設・学校・地域・行政の協働）

- 個別目標（１）：地域の人材育成と人材活用
- 個別目標（２）：地元事業所・商店の関わり
- 個別目標（３）：体験できる場（多様な体験ができる機会を増やす）
- 個別目標（４）：交流できる場（子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場を増やす）
- 個別目標（５）：子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

重点目標２：一人ひとりに情報が確実に届く

- 個別目標（１）：子どもと親への情報の確保

重点目標３：みんなで安全・安心のまちをつくる

- 個別目標（１）：子どもの安全・安心の確保
- 個別目標（２）：子育てしやすいまちづくり

4. 子どもマスタープランに基づく 2008 年度の取り組み

この章は、3つの基本目標ごとに次のように構成されています。

■ 重点目標

【重点目標の解説】

◆ 個別目標

【個別目標の解説】

【指標】<例>

| 指標名 | 単位 | 2006 年度 実績値 | 2007 年度 実績値 | 2008 年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|--|----|----------------|----------------|----------------|-----------------------|--|
| 日常生活の中で近所の子どもと立ち話をしたり、子どもに声をかけたりすることがあると答えた市民の割合 | % | 33.0 | 30.3 | 30.4 | 市民意識調査 (政策経営企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。 |

【解説】重点目標・個別目標のうち測定可能なものについて評価指標をつけ、計画がスタートした 2005 年度から 2006 年度から 2008 年度の数値を記載しています。他の資料から引用したものについては、出典資料とその所管課（2008 年度）を記載しています。

個別目標を達成するための事業の具体的紹介<例>

【解説】この個別目標を達成するために行われた 2008 年度事業のうち、特長的な事業とその内容・担当部課を紹介しています。

担当：事業を担当している部・課名

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪<例>

| 部名 | 事業名 | 事業の内容 | 対象 | 実施場所 | 所管課・係 |
|--------|-------------------------|---|------------------|----------------|---------------------------|
| 子ども生活部 | 町田市子どもセンター ばあん子ども委員会 | 子どもセンタールールや行事、運営などについて、センタースタッフと共に考え活動している。 | 小学 4 年生 ～18 歳 | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・ 子どもセンター ばあん |

【解説】この個別目標を達成するために行われている事業のうち、紙面の都合で詳しい説明をすることのできなかった事業を名称と担当課のみ掲載しています。

*事業を所管している部・課の名称は、2010 年 1 月現在のものです。

*各事業の詳細（事業費や事業量）については、政策経営部で発行している「事務事業管理データ」で詳しくご覧になれます。事務事業管理データは、「市政情報やまびこ」、各図書館でご覧いただけるほか、町田市公式ホームページからもご覧いただけます。

■町田市公式ホームページ (<http://www.city.machida.tokyo.jp/>) > 市の取り組み>事務事業管理データ（2008 年度版）

◎基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものを持っている

■重点目標Ⅰ 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

【重点目標の解説】

- ①子どもが様々な遊びや体験の中で人間関係について学ぶことができ、大人も子どもの遊びや体験が大切なことを理解できるようにします。
- ②子どもが社会の様々なことに主体的に参加し、意見表明ができることを理解し、実践できるようにします。
- ③大人が子どもの参加や意見表明について理解し、受け入れることができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|---|----|---------------|---------------|---------------|------------------------|---|
| 自分の子どもが屋外体験やボランティア、町内会、自治会などの活動を経験することは重要だと思う保護者の割合 | % | 77.1 | 75.4 | 77.6 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいかほど評価が高い。 |
| 自分の子どもが好きなことに夢中になったり、頑張ったりしていると思う保護者の割合 | % | 86.4 | 87.3 | 85.2 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいかほど評価が高い。 |

◆1-1-個別目標Ⅰ コミュニケーション能力を育てる

【個別目標の解説】

- ①子どもが幅広い人間関係をつくり、意思疎通を図ることができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|--|----|---------------|---------------|---------------|--------------------------------------|---|
| 日常生活の中で近所の子どもと立ち話をしたり、子どもに声をかけたりすることがあると答えた市民の割合 | % | 33.3 | 30.6 | 30.4 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいかほど評価が高い。 |
| 市立図書館の児童図書の年間貸出冊数 | 冊 | 1,101,345 | 1,079,894 | 1,124,607 | 数字で見る町田市立図書館の実績(町田市ホームページ)(生涯学習部図書館) | |

ジュニアリーダー講座

野外活動の基礎、各種ゲームやレクリエーション活動などを通して、地域や学校のリーダーに必要な知識等を学びます。講座は、Aコース(小4~小5、年8回の活動)、Bコース(Aコース修了者のうちの希望者、年13回の活動)、Cコース(Bコース修了者のうちの希望者、年15回の活動)の3コースで構成されています。なお、Cコースを修了した中高生の方に修了後も講座の運営にご協力をいただいています。

担当: 子ども生活部児童青少年課

読書活動の推進

「町田市子ども読書活動推進計画」に基づき、「意思疎通できる論理性や感性を養う」ことや乳幼児期から読書に親しむことを目的に図書貸し出しやおはなし会を行っています。お話し会は、読書活動を行っている市民の団体にもご協力をいただいています。

生涯学習部図書館・市民部市民課(玉川学園文化センター)・市民部忠生市民センター・子ども生活部児童青少年課(子どもセンターばあん・子どもセンターつるっこ・南大谷子どもクラブ)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|----------------------------|--|-----------|-------------|----------------------|
| 子ども生活部 | びよびよたいむ | ボランティアグループ『柿の木文庫』によるおはなし会。絵本・紙芝居・パネルシアターなどのおはなしや、手遊び・わらべ歌など。びよびよたいむ：全11回、ばおばおたいむ：全10回。 | 0～1才児と保護者 | 子どもセンターつるっこ | 児童青少年課・子どもセンターつるっこ |
| | ばおばおたいむ | | 2～3才児と保護者 | 子どもセンターつるっこ | 児童青少年課・子どもセンターつるっこ |
| | お話し会「お・は・な・し・はじまるよ」 | ボランティアの方々による、絵本、紙芝居、指人形等のお話し会。○子どもと本の世界を結ぶ○親子の楽しい時間の共有○図書館の紹介○子育て中の親を地域でサポート、を「活動目標」として活動。16回実施。 | 保護者同伴の乳幼児 | 子どもセンターばあん | 児童青少年課 子どもセンターばあん |
| 生涯学習部 | おはなし会 | 本に親しみを持ってもらうことを目的に絵本・紙芝居・語りを行う。演目に関連した本の紹介など実施。水曜日延べ7768人(6巻合計)。 | 幼児および小学生 | 各図書館 | 図書館 |
| | おひざでだっこのおはなし会 | 乳幼児とその保護者に本および図書館に親しみをもってもらうため、絵本、手遊び、わらべうたを実施。 | 乳幼児と保護者 | 中央図書館 | 図書館 |
| | ひだまりだっこでおはなし会 | おひざでだっこのおはなし会：毎月最終金曜日 ひだまりだっこでおはなし会：毎月最終木曜日 | 乳児と保護者 | さるびあ図書館 | 図書館 |
| | 保育室 文学サロントーク ちちんぷいぷい | 小さくたって文学(ことば)大好き！をキャッチフレーズに、わらべ歌や絵本の読み聞かせ等を通して、ことばを楽しむ活動をボランティアの協力を得て実施。親子交流の時間を設けることで、親にとって安心できる場になるとともに、家庭に絵本をつなげる場になっている。 | 0～1歳児の親子 | 文学館保育室 | 図書館(文学館) |

◆1-1-個別目標2 参加と意見表明の場や機会をつくる

【個別目標の解説】

- ① 子どもが家庭・学校・地域で大人を信頼し自由に意見を言うことができるようになります。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度実績値 | 2007年度実績値 | 2008年度実績値 | 指標数値出典(所管課) | 備考 |
|--------------------------------------|----|-----------|-----------|-----------|------------------|-------------------|
| 子どもセンター及び子どもクラブの子ども委員会委員数 | 人 | 90 | 107 | 95 | 子ども生活部 児童青少年課 | |
| 市が実施した、子どもを対象とした事業のうち子どもが企画運営に参加した割合 | % | — | 8.2 | 14.7 | 子ども生活部 児童青少年課 | 子ども総務課が市の各課に行った調査 |

子どもセンター、子どもクラブの子ども委員会

子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、南大谷子どもクラブに、小学生～高校生までが参加・運営する子ども委員会が設置されています。子ども委員会では、イベントの計画、当日の運営や施設利用のルールづくりなどについての活動を行っています。

担当：子ども生活部児童青少年課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|---------------------|---|-----------------|-------------|--------------------|
| 子ども生活部 | 子どもセンターつるっこ子ども委員会 | 子ども委員会の子どもたちが、つるっこをよりよくするための話し合いや盛り上げるためのイベントを企画・運営する。全34回 | 小学3年生～18才 | 子どもセンターつるっこ | 児童青少年課・子どもセンターつるっこ |
| | 「BDG」主催ライブ | 中高生バンドクラブ「BDG」が企画運営し、つるっこで練習しているバンドに参加募集をし実施しているライブ。全2回 | 幼児～大人 | 子どもセンターつるっこ | 児童青少年課・子どもセンターつるっこ |
| | おはなしなあに | 地域のボランティアさんとの協働事業。地域のおとなと子どもをおはなしを通してつなぐことを目的としている。全24回実施 | 保護者同伴の幼児から18歳まで | 南大谷子どもクラブ | 児童青少年課・南大谷子どもクラブ |
| | 町田市子どもセンターばあん子ども委員会 | 子どもセンターのルールや行事、運営などについて、センタースタッフと共に考え活動している。 | 小学4年生～18歳 | 子どもセンターばあん | 児童青少年課・子どもセンターばあん |
| 政策経営部 | 中学生人権作文コンテスト | 人権問題に関する作文を書くことによって、人権尊重の重要性・必要性について理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身につけてもらう。 | 中学生 | 町田市内の全中学校 | 広報広聴課 広聴係 |
| | 子どもからの人権メッセージ発表会 | 子どもたちに人権尊重の精神と自由に意見を表明する権利を理解してもらう。 | 小学生 | 南つくし野小 | 広報広聴課 広聴係 |

◆ 1-1-個別目標3 救済とやり直しの場や機会を保障する

【個別目標の解説】

- ① 子どもが悩んだときに気軽に相談するところがあり、立ち直りを支えることができるようになります。

■重点目標2 大人になっていく力をつける(市民性の形成を育む)

【重点目標の解説】

- ① 子どもが成長段階に応じた様々な体験の中で社会について学び、社会の一員としての自覚を持つことができるようにします。

◆1-2-個別目標1 乳幼児期の養護を充実させる

【個別目標の解説】

- ① 乳幼児とその親が精神的に安定した状態で生活を送ることができるようにします。

◆1-2-個別目標2 幼児教育を充実させる

【個別目標の解説】

- ① 幼児を持つ親が様々なプログラムの中から教育方法を選択することができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|-------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------|---|
| 預かり保育実施幼稚園数 | 園 | 6 | 7 | 7 | 子ども生活部 子ども総務課 | 市の預かり保育充実補助金の交付を受けた私立幼稚園数。 ※中期経営計画指標 |

私立幼稚園の預かり保育事業への補助

幼稚園の「預かり保育」は、通常の教育課程に係る教育時間の前後や長期休業期間（春・夏・冬休み）などに、地域の実態や保護者の要請に応じて、子どもを預かるものです。

女性の社会活動の拡大、少子化や核家族化などに伴う同年代や異年齢の仲間と遊ぶ機会が減少するとともに、地域の人々との交流の機会の減少などにより、「預かり保育」へのニーズが高まってきています。町田市では、2005年度から教育時間及び預かり保育時間を合計して11時間以上、通年で開園する等の市が定める一定の条件を満たす預かり保育を実施している園に対し事業費の補助を行っています。

担当：子ども生活部子ども総務課

◆1-2-個別目標3 学校教育を充実させる

【個別目標の解説】

- ① 義務教育の対象となるすべての子どもが小学校・中学校に楽しく通えるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度実績値 | 2007年度実績値 | 2008年度実績値 | 指標数値出典(所管課) | 備考 |
|--|----|-----------|-----------|-----------|--------------------|--|
| 充実した学校教育を子どもに受けさせることができていると感じている保護者の割合 | % | 47.0 | 56.7 | 56.5 | 市民意識調査(政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。 |

小中一貫教育・町田っ子カリキュラム

教育委員会では、2008年度から市立全小・中学校を本市独自の重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」と、地域ごとに課題を明確化し、共有しながら、その解決に向けて小・中学校が連携して指導を図る地域型の「小中一貫指導推進校」のふたつの取り組みを軸とした「小中一貫教育」を実施しています。「町田っ子カリキュラム」は、規範意識やコミュニケーション能力を高めながら、働くことや学ぶことの大切さを実感し、心身ともに健康で、進んで社会に関わろうとする子どもたちを育てていくことを目標にしています。また、「小中一貫教育」では、小中一貫教育モデル校を指定し、地域や学校の実態・実情に応じた小中一貫指導計画を作成して実際の小中連携策を行っています。

担当: 学校教育部指導課

学校選択制度

学校選択制度は、小・中学校への入学に際し、保護者やお子さんが自ら希望し指定校以外の小学校・中学校への入学を選択できる制度です。学校を選択できる対象学年は、翌年度に入学する新小学1年生、新中学1年生で、町田市内全域の市立小学校・中学校から受入枠の範囲内で選択できます。なお、2年生以上の児童・生徒は選択することができません。

担当: 学校教育部学務課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|-------|--------------------|---|-------------|-----------|------------|
| 学校教育部 | 小学校適応指導教室「けやき教室」 | 2003年度から公立小学校に在籍する不登校及び不登校の傾向にある児童に対して、学校復帰の指導及び援助を目的として森野分庁舎4階で開始した事業。2004年度から組織改正によって発足した教育センター内に移設し、継続して事業を展開した。 | 小学1年生～6年生 | 町田市教育センター | 指導課教育センター係 |
| | 学校ネットワーク整備 | 市立小・中学校全校の学校ネットワーク環境及びパソコン台数の整備を図り、情報教育環境の充実を推進した。 | 市立小・中学校 | 市内小・中学校 | 指導課教育センター係 |
| | 小学校1年学級への生活指導補助者派遣 | 小学校1年生の学級で、児童が規律ある学校生活にスムーズに適應できるように補助を行った。 | 市立小学校1年の全学級 | 市立小学校 | 指導課管理係 |
| | 特色ある学校づくり | 各小中学校が「国際理解」、「地域理解」、「ボランティア活動」、「福祉体験」等を実施し、地域に開かれた特色ある学校づくりを行った。 | 市立小中学校 | 市立小中学校 | 指導課管理係 |

◆ 1-2-個別目標4 思春期の子どもたちの心と身体の健康教育を充実する

【個別目標の解説】

- ① 思春期の子どもたちが自分の世代の心や身体について学ぶことができるようにします。

中学校給食

栄養バランスのとれた食事を提供し、正しい食習慣を身につけることにより、好ましい人間関係の育成や健康増進を目的に、2005年度から5年計画で年間4校ずつ中学校給食を提供しています。この給食は希望制で、弁当併用外注方式を採用しています。2008年度までに、中学校20校のうち16校で給食を実施し、約40%の利用がありました。

担当：学校教育課

【用語解説：弁当併用外注方式】給食を希望する生徒に対し、調理業者が調理した弁当を学校に配達する給食の提供形態。家庭からの弁当を持参することも可能。

◆ 1-2-個別目標5 体験活動から学ぶようにする(文化・スポーツ活動等)

【個別目標の解説】

① 子どもが様々な活動に参加し、多くの体験を得ることができるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|--|----|---------------|---------------|---------------|------------------------|--|
| 自分の子どもが野外活動やボランティアの活動に参加した保護者の割合 | % | 27.4 | 28.1 | 32.7 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | ※中期経営計画指標 |
| 子どもが子どもどうしで遊んだり触れ合ったりすることができる機会や場所が身近にあると感じている保護者の割合 | % | 53.8 | 57.0 | 58.8 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。 |

青少年施設ひなた村

青少年の文化活動や創作活動、あそびと創造の場と機会を提供する施設です。市内で活動しているサークルやグループ等にひなた村屋内外を開放しています。カリヨンホール、レクリエーションルーム、和室、屋外炊事場があります。子どもグループの育成事業として人形劇・電気工作、遊びの各グループが、毎週ひなた村に集まり活動しています(毎年4月に募集)。また、主催事業として、縄文体験学習や、チャレンジ教室、創作童話募集など、青少年を対象とした事業を行っています。

◇所在地 町田市本町田2863

担当：子ども生活部ひなた村

大地沢青少年センター

大地沢青少年センターは町田市の西端にあり、草戸山をはじめとする山々に囲まれた自然に恵まれたところです。

施設周辺では、ムササビやリス、イノシシなどのほ乳類をはじめ、ホタルや沢ガニ、野鳥など様々な野生動物が生息しています。

東京ドーム約4.7個分、約22万平方メートルの敷地内には、野外炊事場やキャビン、テントサイト、研修棟の他、本館内には宿泊室や音楽演奏ができるホールもあります。また、「親子で楽しむ森の恵み講座」「森林体験塾」「焼き板作り」などの様々な主催事業・プログラムサービスを実施しています。

◇所在地 町田市相原町 5307-2

担当：子ども生活部大地沢青少年センター

自然環境学習会

「どんぐり」という身近でかつ、鶴見川源流域の自然環境を構成する重要な素材を取り上げることにより、生きものの不思議や豊かな自然に恵まれている地域であることの理解を深め、自分たちのふるさとを大切にすることを育んでいただくことを目的に実施しました。「どんぐりと自然環境」をテーマにした紙芝居、どんぐり植栽体験、クヌギの観察、どんぐり拾いを行いました。

担当: 経済観光部北部丘陵整備課

町田市一周 78 km チャレンジハイク

2泊3日かけて、町田市一周78kmを一周するチャレンジプログラム。約33人の参加があり、町全体を感じながら、グループで協力し、達成感と満足感・自信を得ることができました。

初日は、町田市役所から都県境の境川を南下し国道246号線を北上、町田の東の縁を歩き子どもセンターつるっこまで約29kmの道のりを約11時間、二日目は、子どもセンターつるっこから町田市北部の丘陵地帯を歩き、西端の大地沢青少年センターまで約24kmを約10時間、最終日は、朝一番で町田市最高峰364m草戸山登山でウォーミングアップし、町田街道や境川を南下し約25km、歩行時間約10時間、町田市役所で感動のゴールを迎えました。

担当: 子ども生活部児童青少年課(子どもセンターつるっこ)

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|-------|---------------|---|------------|---------------|----------------|
| 環境資源部 | こどもエコクラブ事業 | 「子どもエコクラブ」は、次世代を担う子どもたちが、地域の中で仲間と主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な取組・活動を行うものである。その活動の支援のため市町村事務局は、全国事務局等との連携を図り、市内のクラブ募集・登録及び会員手帳や情報誌の配布を実施。 | 幼児から高校生まで | 各家庭・学校等 | 環境保全課 環境計画係 |
| | 夏休み子どもリサイクル体験 | 紙すき体験とミニ布ぞうり作り体験を通して、資源の大切さを学び、リデュース、リユース、リサイクル(3R)の必要性を実感してもらう。 | 小学校1年生～6年生 | 町田リサイクル文化センター | ごみ減量課 |

基本目標Ⅰ 子どもが健やかに育ち、一人ひとり自分の中に光るものをもっている

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|---------------|-----------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 子ども生活部 | おやこで・あ・そ・ぼっ | 親子で一緒にお菓子づくり、鍋料理、遊び等を楽しむ。また、親子が分かれて活動する場面を設け、子どもだけの集団遊びも行う。 | 年長児～ 小学3年生 | ひなた村・ 市立総合体育館 | 児童青少年課 |
| | あ～そぼっ! | 外の芝生広場で身体を動かす集団あそび。全32回 | 小学生～18才 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・ 子どもセンター つるっこ |
| | ナイトシネマーズ | 夏休みの夕方から、外の芝生広場で行う野外映画会。1回。 | 幼児～18才 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・ 子どもセンター つるっこ |
| | わくわくらふと | 身の周りにあるもので作れる発見、自分で作る楽しさを味わう、手芸・クラフト・木工作教室。全9回。 | 小学生～18才 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・ 子どもセンター つるっこ |
| | 子どもセンター つるっこ子ども委 員会主催事業 | 子ども委員会の子どもたちが企画し、実施するイベント。『ドッチボール大会』(毎月)、『おぼけ屋敷&キッズパーク』(8/24)、『ウインターイベント』(12/21)、『こども映画祭』(2/21)。 | 0才～大人 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・ 子どもセンター つるっこ |
| | 親子でチャレンジ | 地域の農家の方に協力を願い、じゃが芋をしたり季節行事を体験する中で、喜びを感じ、親子で楽しいひとときができる場を提供している。全8回 | 2歳以上の親子 | 南大谷子ども クラブ | 児童青少年課・ 南大谷子ども クラブ |
| | 料理企画 | 和菓子、洋菓子、お弁当等皆で協力してのクッキング。作る楽しさ、食べる喜び、食べ物の大切さも学ぶ定例事業。10回実施 | 小学生～18歳※ 定員20名 | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・ 子どもセンター ばあん |
| | 工作教室 | 廃材等を利用する工作教室。作る事を楽しみながら、資源の大切さや再利用についても考える定例事業。43回実施 | 幼児～18歳 | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・ 子どもセンター ばあん |
| | みんなで目指そう 大地沢 | ばあんから大地沢まで25kmを徒歩で目指します。大地沢で1泊します。 | 小学4年～18歳 ※定員30名 | 大地沢青少年 センター | 児童青少年課・ 子どもセンター ばあん |
| | 森林体験塾 | 身近な自然を守り育てる市民団体の指導のもと、多くの森林体験プログラムを通じ、森の恵みと役割を体験的に学ぶ事業。5回実施。 | 小学生以上の子ども とその保護者 | 大地沢青少年 センター | 大地沢青少年 センター |
| | 夏の子どもキャンプ | 家庭を離れた環境での生活や、集団での活動を通して、自立心や協調性を培うとともに、恵まれた自然の中での活動を通して、様々なことへの興味・探究心を養う事業。 | 市内在住の小学4 年生～6年生 | 大地沢青少年 センター | 大地沢青少年 センター |
| | きみのでばあん | けんだま(5/15～6/14)、ドッチボール(8/21)、なわとび(11/13～12/6)、こままわし(2/5～2/28)の大会。異年齢集団の中で技を磨き自信をつけるなど、楽しみながら遊びの世界を広げる。 | 18歳まで | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・ 子どもセンター ばあん |
| | 星空教室(川上村) | 美しい夜空の川上村で、専門家の案内により星空観望を行います。 | 市内在住の小学4 年生～高校生 | 町田市自然休暇 村 | 大地沢青少年 センター |
| | 親子で楽しむ森の 恵み講座 | 炭焼きと竹細工をメインプログラムに、里山における命と資源の循環について学びます。 | 都内在住の小・中 学生(小学3年生 以下は保護者同 伴) | 大地沢青少年セ ンター及び周辺 の山林 | 大地沢青少年 センター |
| 政策経営部 | 「人権の花」運動 | 児童が協力しあって花を栽培する中で、人権の大切さに気づき、豊かな人権感覚を見に付けてもらう。 | 小学生 | 本町田小、町田 第一小、小山ヶ 丘小 | 広報広聴課 広聴係 |
| 文化スポーツ 振興部 | 吹奏楽フェスティバル in まちだ 2008 | 町田市民ホールで、市内にある高等学校吹奏楽部による演奏会を実施(全11公演) | 市内の高等学校 | 町田市民ホール | 指定管理者 |
| | 親子ふれあい体操教室 | 体操を通じ親子のスキンシップを図り、体力の維持・健康の増進。4月～6月と10月～12月はそれぞれ10日、1月～3月は8日、計3回実施。 | 4歳～6歳の未就 学児と保護者 | 総体 | 指定管理者 |
| | 小学生水泳教室 | 水泳が不得意な小学生を対象に、水に慣れる～クロールができるようになるまでを目指す。6月～7月は7日のコースを2回、3月は4日のコースを2回実施。 | 小学2年生～6年 生 | 室内プール | 指定管理者 |
| | 夏休み子どもフェア ー・チャレンジマッ スル 2008 | 楽しく体を動かして遊ぶことを通じて、子どもたちに交流を深めてもらう。総合体育館とサン町田旭体育館で1回ずつ実施。 | 小学生 | 総体・サン旭 | 指定管理者 スポーツ振興課 |
| | 子ども講座①② | アーティストを講師に招き、制作を通して美術と美術館に親しむ。 | 小学生 | 国際版画美術 館・アトリエ | 国際版画美術 館・普及係 |
| | 夏期子ども講座 | 東京学芸大学・清野泰行准教授とその研究室ゼミ生徒の指導による、版を使った制作。出来上がった作品は、指導したゼミ生徒の作品とともに市民展示室で展示発表する。 | 小学3～6年生 | 国際版画美術 館・アトリエ | 国際版画美術 館・普及係 |
| 農業委員会 | 親子体験農業 | 農作業を通じて親子で自然に親しみ、農業の大切さや収穫の喜びを体感してもらうことを目的として、親子体験農業実行委員会において実施している親子体験農業を側面からサポートしている。田植え、一番草取り、稲刈り、収穫祭、お飾り作りの全5回。 | 小学3～6年生 | 忠生公園ほか | 農業委員会事務 局 |

◎ 基本目標Ⅱ 子どもが安らいている家族があり、家族が地域とつながっている

■ 重点目標1 親になる力を身につける

【重点目標の解説】

- ① 妊娠期から子育て期の親が、安心して出産や子育てをするためのサービスをうけることができるようにします。

◆ Ⅱ-1-個別目標1 親スタート期を支える

【個別目標の解説】

- ① 妊娠期の親が精神的に安定して妊娠期を過ごし、出産を迎えることができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|-----------------|----|---------------|---------------|---------------|-----------------|----|
| 妊娠健康調査の受診率(1回目) | % | 81.5 | 86.6 | 87.0 | いきいき健康部健康課 | |
| 妊娠健康調査の受診率(2回目) | % | 78.0 | 82.1 | (注) — | いきいき健康部健康課 | |
| 産婦健康診査の受診率 | % | 93.4 | 94.2 | 93.6 | いきいき健康部健康課 | |

(注) 2008年度より、妊婦検診への公費負担回数が5回に増え、2回目としての受診率が算出できなくなったため、記載しておりません。

育児支援ヘルパーの派遣

出産の後、「日中誰もいなくて心細い」、「双子なのでたいへん」等のお母さんを支援するために育児支援ヘルパーを派遣しています。対象は、市内にお住まいの方です。利用にあたっては、次のような利用時間の上限があります。申し込み先は、子ども家庭支援センター（☎710-1525）です。

- ◇ 出産し、退院した翌日から2ヶ月以内で40時間まで
- ◇ 双子は、出産日から1年以内で100時間まで
- ◇ 三つ子以上は、出産日から4年以内で年156日まで
- ◇ 午前8時～午後7時までの時間帯のうち、1日1回連続して2時間以上4時間まで
- 費用 1時間820円（所得税非課税世帯・生活保護世帯の減免あり）
交通費実費。派遣日前日の午後5時以降からキャンセル料が発生します。

● サービス内容

- ・ 育児に関する援助及び助言・相談
沐浴、授乳、オムツ交換、兄弟の幼稚園・保育園の送迎等（徒歩・公共交通機関のみの利用で交通費実費）
- ・ 家事の援助（食事の準備・居室まわりの掃除・洗濯・買い物）
- ・ 健診への付き添い
* サービス内容には、制限があります。

担当：子ども生活部子育て支援課・子ども家庭支援センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|---------|-------------|--|---------|----------------|-----|
| いきいき健康部 | 母子健康手帳 | 妊娠・出産・各種健康診査・予防接種を記録し健康の保持増進を図る。 | 妊婦 | 健康福祉会館・各市民センター | 健康課 |
| | 妊婦健康診査 | 妊婦の健康管理と健康の保持増進を図る。 | 妊婦 | 契約医療機関 | 健康課 |
| | 妊婦歯科健康診査 | 妊婦の健康管理と健康の保持増進を図る。 | 妊婦 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 妊産婦・乳幼児保健指導 | 経済的理由により保健指導を受け難い妊産婦・乳幼児に対して健康管理と健康の保持を図る。 | 妊産婦・乳幼児 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 母親学級 | 妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図る。 | 妊婦 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 妊婦クラス | 妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図る。 | 妊婦 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | ママクラスクッキング | 妊娠中の健康管理・栄養・お産の正しい知識・産後の注意・新生児の保育指導を行い、母子の健康増進を図る。 | 妊婦 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 母子保健訪問指導事業 | 健康相談や育児支援のために、家庭に訪問をして支援を行う。 | 妊産婦・乳幼児 | 健康福祉会館より各家庭へ | 健康課 |

◆Ⅱ-1-個別目標2 子育て期を支える

【個別目標の解説】

① 子育て中の親が孤立感を持たずに子育てをすることができるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度実績値 | 2007年度実績値 | 2008年度実績値 | 指標数値出典(所管課) | 備考 |
|------------------|----|-----------|-----------|-----------|------------------|---|
| 在宅家庭支援実施保育園数 | 園 | 21 | 21 | 24 | 子ども生活部 子育て支援課 | 保育園の「子育てひろば事業」と「集いのひろば」事業の合計 ※中期経営計画指標 |
| 子ども家庭支援センターの相談件数 | 件 | 899 | 904 | 1,003 | 子ども生活部 子育て支援課 | ※中期経営計画指標 |

子育てひろば

在宅で子育てをされている家庭を対象に「子育てひろば」事業を行っています。市内の保育園等を会場に、親子で遊びながら子育ての楽しさを感じたり、親同士・子ども同士の交流を深め、さまざまな情報交換ができる機会を提供しています。

親子で同年齢のクラスに入り、保育園の生活を体験したり（要予約・食事代が必要です）、食事・排泄・睡眠・言葉・遊び・友だち・・・子育てのことなら何でもご相談ください。保育園の園庭の開放もしています。詳しくは「子育てひろばカレンダー」（P. 48）をご覧ください。
担当：子ども生活部子育て支援課

■子育てひろば情報は、町田市公式ホームページ内 子育てひろばカレンダー・キッズページ（「イベント情報」→「保育園」）でご覧いただけます。

*キッズページURL <http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/>

子どもセンター・子どもクラブの子育て支援事業

各子どもセンター・子どもクラブも乳幼児とその保護者を対象にしたキッズアタック（ばあん）、ぽっぷんたいむ（つるっこ）、ぴっころタイム（南大谷子どもクラブ）などの子育て支援の事業を実施しています。
担当：子ども生活部児童青少年課

ショートステイ、トワイライトステイ

◇ショートステイ（おおむね2歳～12歳） 保護者の病気や出産、家族の介護などで一時的に養育ができなくなった時に、家庭的な環境でお子さんを短期間お預かりする事業です。

◇トワイライトステイ（おおむね2歳～12歳） 仕事等で保護者の帰宅が遅くなる時に夜10時までお預かりする事業です。

子ども家庭支援センター（☎710-1525）で利用相談を受け付けます。

担当：子ども生活部子育て支援課



さるびあフェスタ 2008
ふわふわドーム・ワンダー・ジャンピン体験

さるびあフェスタ2008

2008年9月14日に町田市民ホールを会場に、「わくわく・どきどき・あそびいっぱい」をテーマに工作、パン作り、本の読み聞かせ、ミニSL乗車など親と子どもと一緒に遊べるプログラムを中心にしたイベントを行いました。市、財団法人町田市文化・国際交流財団等の共催ですが、町田市法人立保育園協会、町田市私立幼稚園協会、NPO法人町田語り手の会等多くの関係団体にもご協力をいただき、約5,000人の参加がありました。

担当：子ども生活部子ども総務課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|---------|--|---------------------------------------|---------------|-------------------|-----|
| いきいき健康部 | 3～4か月児健康診査 | 各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行っている。 | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 鶴川分館 | 健康課 |
| | 6～7か月児健康診査 | | 該当する乳幼児 | 契約医療機関 | 健康課 |
| | 9～10か月児健康診査 | | 該当する乳幼児 | 契約医療機関 | 健康課 |
| | 1歳6か月児健康診査 | | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 他2箇所 | 健康課 |
| | 3歳児健康診査 | | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 鶴川分館 | 健康課 |
| | 乳幼児経過観察健診 | 各健診で乳幼児の健康増進、疾病の早期発見と保護者への育児支援を行っている。 | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 発達健康診査 | | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 妊婦・乳幼児精密健康診査 | | 該当する妊婦と乳幼児 | 契約医療機関 | 健康課 |
| | 虫歯予防教室 | 虫歯予防の関心を高めるために行っている。 | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 乳幼児栄養食品支給 | 母子の健康増進を図るために行っている。 | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 定期予防接種 | 定期予防接種・BCG接種・予防接種助成 | 該当する乳幼児 | 健康福祉会館 各市民センター | 健康課 |
| | 育児学級 | 母子の健康増進を図るために行っている。 | 該当する乳幼児とその保護者 | 小山市民センター | 健康課 |
| | 離乳食・幼児食講習会 | | 該当する乳幼児とその保護者 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 健康教育 | | 該当する乳幼児とその保護者 | 市内 | 健康課 |
| 未熟児養育医療 | 未熟児が満1歳までに入院養育を必要とする場合、入院医療助成のための医療券の申請を受理して東京都に進達します。 | 2000g未満で出生した乳児等 | 健康福祉会館 | 健康課 | |

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|------------------------------|---|----------------------------|--------------|---------------------|
| 生涯学習部 | ブックスタート応援事業 | 乳幼児におすすめの本をピックアップしたパンフレットを作成し、各図書館や保育園などで配布した。 | — | — | 図書館 |
| | 市民企画講座「知ろう！学ぼう！大人も子供も大切な心と体」 | 子どもに体のことを科学的に正しく教え、いのちの大切さを伝えていくために、大人は何ができるのかということについて学びあう。 | 子どもの保護者と子ども(市内在住・在勤・在学を優先) | まちだ中央公民館 | 公民館 |
| 子ども生活部 | ぼっふんたいむ | 体操・手遊び・運動遊び・工作・おはなしなど。親子で遊びながら親・子ども同士の交流の場としている。全 55 回 | 0才～幼児と保護者 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | ぼっふんクッキング | 親子で料理を行う。親子で作る楽しさ・友だちと食べるおいしさを味わう。全 4 回 | 2才～幼児と保護者 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | ぼっふんたいむ in 三輪センター | 体操・手遊び・運動遊び・工作・おはなしなど。地域的に離れたところへの親子遊びの出張サービス。全 3 回 | 0才～幼児と保護者 | 三輪センター | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | げんきたいむ | 主に芝生広場で、身体をつかった集団遊びや工作など。全 40 回 | 3才～幼児と保護者 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | パパといっしょ | お父さんと幼児向けの、親子遊び・集団遊び・工作など。全 10 回 | 3才～幼児と保護者 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | キッズアタック | 在宅で子育てをしている家庭を対象とした子育て支援事業。親子での遊び、子ども同士の交わり、親同士の情報交換等を通して、子育ての楽しさを感じてもらうことをねらいとした事業。39回実施 | 0歳～就学前の乳幼児と保護者(1～2歳児中心) | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・子どもセンター ばあん |
| | ヤンチャッチャ | 体操・工作・リトミック等を通して興味や関心をひろげながら、自分の力を発揮し、子ども同士の関わりを楽しみ経験を積ませることをねらいとした、子育て支援事業。33回実施 | 就学前の3歳以上の児童と保護者 | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・子どもセンター ばあん |
| | パワーキッズ | 歌・紙芝居・リトミック等の活動をする中で、親も子ども友達をつくりながら、共に育ちあうことをねらいとした、年間を通じて同じメンバーで活動する、子育て支援事業。30回実施 | 4歳～就学前の児童と保護者 ※定員15名 | 子どもセンター ばあん | 児童青少年課・子どもセンター ばあん |
| 市民部 | おはなし会「おはなしぼっけ」 | 和室(2部屋・20畳間)を利用して、ボランティアによるおはなし会を実施した。行政が場所の提供とPRを担当し、地域ボランティアが読み聞かせやわらべうた、てあそびのプログラム提供をしている。 | 0歳～2歳とその保護者 | 玉川学園文化センター | 市民課 玉川学園文化センター |

◆Ⅱ-1-個別目標3 男女共同の子育てを進める

【個別目標の解説】

- ① 夫婦が協力して子育てをすることができるようになります。

両親学級

妊婦とその家族を対象に、妊娠・出産・産後のからだところの変化や父親になるための心構え等の講話や先輩パパ・ママの体験談を聴く講座を実施しました。〈4回実施〉

担当:いきいき健康部健康課

パパに子育て応援講座

男性の育児参加の促進を目的に、離乳食の作り方(実習)、進め方、コミュニケーション方法、絵本の読み聞かせ方法を紹介する講座を実施しました。〈全3回実施〉

担当:市民部市民協働推進課・男女平等推進センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|-------------|--|--------------------|--------------|---------------------|
| 子ども生活部 | パパといっしょ | お父さんと幼児向けの、親子遊び・集団遊び・工作など。全 10 回 | 3才～幼児と保護者 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| 市民部 | 父子(おやこ)料理教室 | 男性の家事・育児参加の促進を目的に、父親と子どもで取り組む料理教室を実施しました。〈全2回〉 | 小学校1～3年生の子どもと父親のペア | 市民フォーラム 調理室 | 市民協働推進課・男女平等推進センター |

◆Ⅱ-1-個別目標4 親の悩みを支える

【個別目標の解説】

- ① 子育て中の親が悩みや不安について身近な場所で気軽に相談できるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|----------------------------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------------|----|
| 育児について気軽に相談できる相手がいなかったと答えた保護者の割合 | % | 22 | 1.9 | 1.5 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整係) | |

地域子育てセンター

子ども家庭支援センターのランチ（枝）として市立の7保育園が、地域での育児相談や様々な子育ての悩み事の相談に応じています。また、子育てサークルの場を提供したり、サークル活動に保育士を派遣する等の専門知識を活かした事業を行っています。

- ・原町田地域：市立町田保育園
- ・南 地域：市立金森保育園
- ・本町田地域：市立本町田保育園
- ・鶴川地域：市立大蔵保育園
- ・森 野 地域：市立森野保育園
- ・忠生地域：市立山崎保育園
- ・堺 地 域：市立こうさぎ保育園

担当：子ども生活部子育て支援課

子育て支援ネットワーク連絡会

児童が虐待の発生予防から早期発見・対応、アフターケアに至るまでの総合的な支援を行うため福祉・医療・保健・教育・警察等の関係機関で構成されているネットワークです。関係機関と地域が一体となって、要保護児童等を支援するために、情報交換・支援の具体策の検討などを地域ごとに定期的に行っています。

担当：子ども生活部子育て支援課・子ども家庭支援センター

健康課の相談（乳幼児・母性相談、来所相談、電話相談）

乳幼児とその保護者を対象に、発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門の職員による相談を行っています。

担当：いきいき健康部健康課

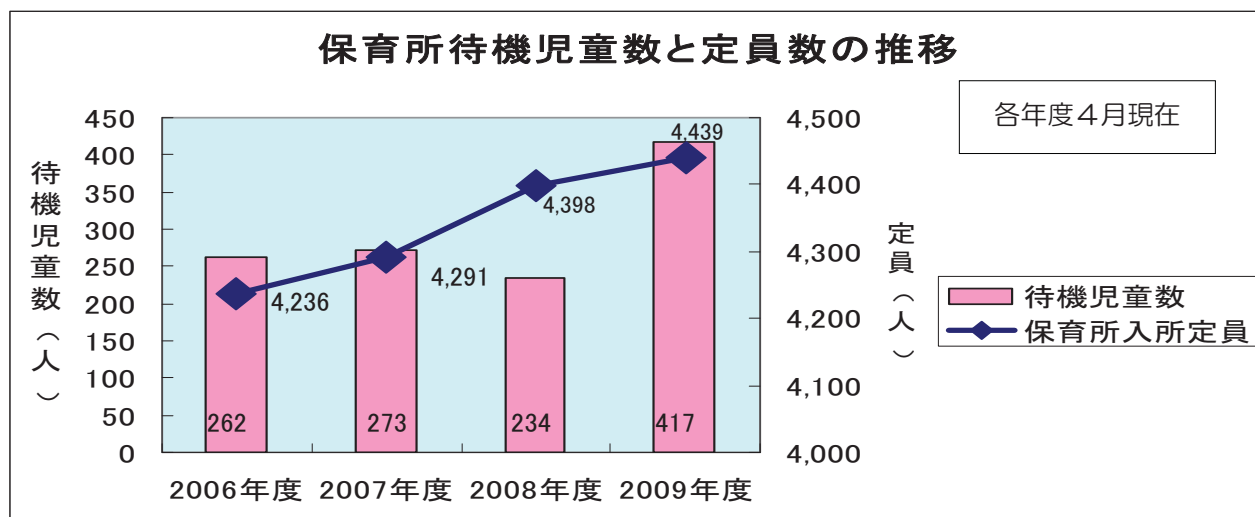
♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|---------|--------------------|--|-----------|-----------------|--------------------|
| いきいき健康部 | 乳幼児・母性相談 | 発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門家が相談に応じる。 | 乳幼児とその保護者 | 市内6会場 | 健康課 |
| | 来所相談 | 発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門家が相談に応じる。 | 乳幼児とその保護者 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| | 電話相談 | 発育・発達、育児方法や食事、虫歯予防、家族の健康について、関係する専門家が相談に応じる。 | 乳幼児とその保護者 | 健康福祉会館 | 健康課 |
| 子ども生活部 | 相談(子ども家庭支援センター) | 0歳から18歳未満のお子さんとその家庭からの相談 | 0～18歳未満 | 子ども家庭支援センター相談者宅 | 子育て支援課・子ども家庭支援センター |
| | 子育てママのしゃべり場 | 地域の中で関わる場をもたず育児不安やストレスを抱えている保護者に、共感・共有の場を提供することで、様々な子育て支援につながり、虐待予防及び育児不安の解消につなげる。 | 子育て中の母親 | 子ども家庭支援センター相談者宅 | 子育て支援課・子ども家庭支援センター |
| | 啓発冊子・ひとりで悩んでいませんか？ | 児童虐待の防止・予防のための啓発冊子 | — | — | 子育て支援課・子ども家庭支援センター |

重点目標2 親が働くことを支える

【重点目標の解説】

- ① 子育て中の親が就労と子育てを両立することができるようにします。



保育所の入所待機児の解消

町田市では、保育所待機児の解消が大きな課題となっています。待機児童数は、前ページの表のように推移しています。町田市では、保育所の新規開設、定員増などの施策を進めていますが、なお、待機児童の解消には至っていません。

今後とも早期の待機児ゼロを目標に、施設・制度等の支援策を積極的に進めていきます。

担当: 子ども生活部子育て支援課

◆Ⅱ-2-個別目標1 保育支援

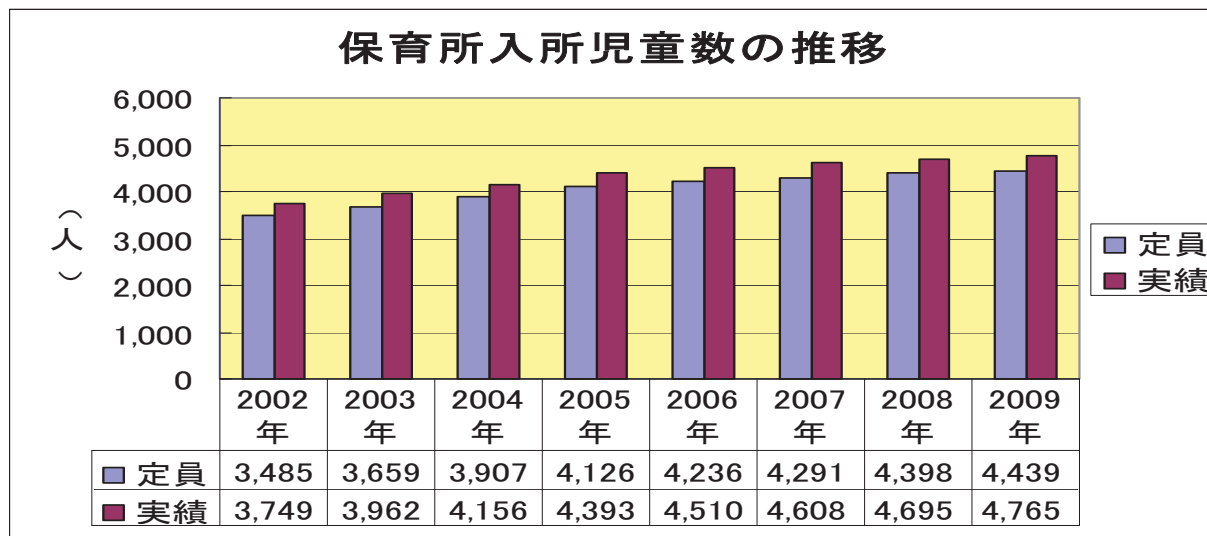
【個別目標の解説】

- ① 子育て中の親が子どもを預ける様々な保育サービスを選択することができ、安心して働くことができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度実績値 | 2007年度実績値 | 2008年度実績値 | 指標数値出典(所管課) | 備考 |
|------------------------|----|-----------|-----------|-----------|------------------|-------------------------------------|
| 保育所待機児童数 | 人 | 262 | 273 | 234 | 子ども生活部 子育て支援課 | 各年度4月現在。2008年4月は、234人。 ※中期経営計画指標 |
| 保育所定員数 | 人 | 4,236 | 4,291 | 4,398 | 子ども生活部 子育て支援課 | 各年度4月現在。 ※中期経営計画指標 |
| 認可外保育施設入所児童数 | 人 | 158 | 185 | 213 | 子ども生活部 子育て支援課 | ※中期経営計画指標 |
| 学童保育クラブが設置されている小学校区の割合 | % | 36/40 | 38/40 | 39/41 | 子ども生活部 児童青少年課 | ※中期経営計画指標 |
| 大規模学童保育クラブ数 | 施設 | 5 | 5 | 5 | 子ども生活部 児童青少年課 | ※中期経営計画指標 |
| 預かり保育実施幼稚園数(再掲) | 園 | 6 | 7 | 7 | 子ども生活部 子ども総務課 | ※中期経営計画指標 |
| ファミリーサポートセンター利用件数 | 件 | 15,693 | 15,056 | 16,452 | 子ども生活部 子育て支援課 | |

【保育園在籍児童数の推移】（各年4月1日現在）



【保育園在籍児童数の推移（各年4月1日現在）】

| 区分 | 年度 | 定員 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 | 入園割合 |
|-----|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|
| 法人立 | 2002 | 2,750 | 259 | 407 | 516 | 580 | 611 | 589 | 2,962 | 107.7 |
| | 2003 | 2,894 | 283 | 428 | 532 | 607 | 639 | 650 | 3,139 | 108.5 |
| | 2004 | 3,142 | 294 | 458 | 574 | 636 | 683 | 702 | 3,347 | 106.5 |
| | 2005 | 3,361 | 322 | 515 | 633 | 697 | 723 | 708 | 3,598 | 107.1 |
| | 2006 | 3,471 | 307 | 548 | 658 | 719 | 756 | 739 | 3,727 | 107.4 |
| | 2007 | 3,526 | 331 | 555 | 667 | 734 | 750 | 771 | 3,808 | 108.0 |
| | 2008 | 3,633 | 353 | 566 | 690 | 755 | 774 | 765 | 3,903 | 105.3 |
| | 2009 | 3,674 | 366 | 585 | 692 | 753 | 787 | 794 | 3,977 | 108.2 |
| 公立 | 2002 | 735 | 29 | 81 | 116 | 166 | 194 | 201 | 787 | 107.1 |
| | 2003 | 765 | 35 | 90 | 123 | 169 | 199 | 207 | 823 | 107.6 |
| | 2004 | 765 | 34 | 89 | 122 | 168 | 191 | 205 | 809 | 105.8 |
| | 2005 | 765 | 36 | 88 | 121 | 170 | 185 | 195 | 795 | 103.9 |
| | 2006 | 765 | 29 | 87 | 120 | 164 | 186 | 197 | 783 | 102.4 |
| | 2007 | 765 | 33 | 91 | 124 | 166 | 192 | 194 | 800 | 104.6 |
| | 2008 | 765 | 33 | 91 | 122 | 159 | 187 | 200 | 792 | 102.6 |
| | 2009 | 765 | 33 | 88 | 119 | 164 | 189 | 195 | 788 | 103.0 |
| 合計 | 2002 | 3,485 | 288 | 488 | 632 | 746 | 805 | 790 | 3,749 | 107.6 |
| | 2003 | 3,659 | 318 | 518 | 655 | 776 | 838 | 857 | 3,962 | 108.3 |
| | 2004 | 3,907 | 328 | 547 | 696 | 804 | 874 | 907 | 4,156 | 106.4 |
| | 2005 | 4,126 | 358 | 603 | 754 | 867 | 908 | 903 | 4,393 | 106.5 |
| | 2006 | 4,236 | 336 | 635 | 778 | 883 | 942 | 936 | 4,510 | 106.5 |
| | 2007 | 4,291 | 364 | 646 | 791 | 900 | 942 | 965 | 4,608 | 107.4 |
| | 2008 | 4,398 | 386 | 657 | 812 | 914 | 961 | 965 | 4,695 | 104.9 |
| | 2009 | 4,439 | 399 | 673 | 811 | 917 | 976 | 989 | 4,765 | 107.3 |

一時保育

冠婚葬祭等の急な用事、保護者・家族の入院・通院・介護等で家庭での保育ができない、リフレッシュに時間がほしい等の理由により、一時的に児童を保育園で預かる制度です（事前登録が必要です）。

担当：子ども生活部子育て支援課

病児・病後児保育

- 病児保育 病気にかかっている児童を医師の指示に基づいて医療機関に併設した専用の施設で一時預かり保育をします。
- 病後児保育 「病気回復期」にあり、医療機関による治療の必要はないが、安静の必要がある児童を保育園に併設した専用施設で一時預かり保育をします。
 - 対象 市内在住のおおむね1歳から小学校3年生まで（病児保育は小学校2年生まで）。市外在住でも、市内の認可保育園在園児は利用できます。
 - 事前に利用登録が必要です。

担当:子ども生活部子育て支援課

休日保育

- わかば保育園で実施しています。年末・年始（12月29日～1月3日）は除く休日や祝日に仕事や介（看）護、または冠婚葬祭などの社会的理由でお子さんの保育ができない場合にご利用いただけます。事前の利用登録が必要です。
 - 対象 市内在住（町田市に住民登録のある方）でおおむね1歳から小学校就学前までのお子さん

担当:子ども生活部子育て支援課

年末保育

- 市立保育園2園で実施しています。12月29日、30日に保護者の方が就労のため家庭で保育できない場合にご利用いただけます。事前の利用申請が必要です（定員あり）。
 - 対象 市内在住（町田市に住民登録のある方）で保護者が就労のため保育できない、12月1日現在満6ヶ月から就学前までのお子さん。町田市外に在住でも、町田市内の認可保育園の在園児は利用できます。

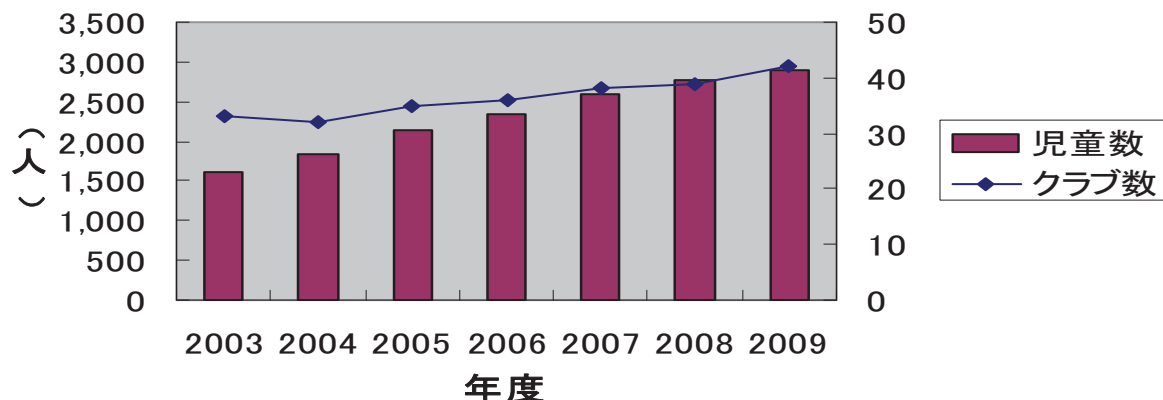
担当:子ども生活部子育て支援課

学童保育クラブ

学童保育クラブでは、放課後帰宅しても保護者が仕事などで子どもの世話をする人がいない家庭の、市内に在住する小学校1年生から3年生（ただし、障がいのある児童については、市長が特に必要と認めたときは6年生）までの児童を預かり、保育しています。現在、1小学校区1学童保育クラブを目標に整備を進めていますが、近年は利用希望が多く、施設の新設とともに狭隘化の解消が課題となっています。

担当:子ども生活部児童青少年課

学童保育クラブ数と入会児童数の推移



【学童保育クラブ入会児童数の推移】（各年4月1日現在）

| 年 度 | 公立 | | 公社 | | 社会福祉協議会 | | 委託 | | 合計 | |
|------|-----|-----|------|-----|---------|-----|------|-------|------|-------|
| | クラブ | 児童数 | クラブ数 | 児童数 | クラブ数 | 児童数 | クラブ数 | 児童数 | クラブ数 | 児童数 |
| 2002 | 8 | 407 | 10 | 399 | | | 13 | 659 | 31 | 1,465 |
| 2003 | 9 | 492 | 11 | 436 | | | 13 | 689 | 33 | 1,617 |
| 2004 | 8 | 510 | 11 | 541 | | | 13 | 792 | 32 | 1,843 |
| 2005 | 7 | 393 | | | 13 | 729 | 15 | 1,016 | 35 | 2,138 |
| 2006 | 7 | 435 | | | 13 | 785 | 16 | 1,130 | 36 | 2,350 |
| 2007 | 7 | 478 | | | 13 | 840 | 18 | 1,279 | 38 | 2,597 |
| 2008 | 6 | 446 | | | 13 | 886 | 20 | 1,434 | 39 | 2,766 |
| 2009 | 6 | 424 | | | 12 | 909 | 24 | 1,553 | 42 | 2,886 |

*公社（町田市学童保育公社）所管の学童保育クラブは、2005年4月に（社）町田市社会福祉協議会に移管されました。

ファミリー・サポート・センター

子育てを支援するための「子育ての手助けをしてほしい人と（依頼会員）」と「子育ての協力をしてくれる人（援助会員）」との相互援助活動を行う会員組織です。

活動内容は、保育園・幼稚園の開始前または終了後の保育、保育園・幼稚園等への送迎、その他、子育てのための必要な援助（保育）等で、補助的、臨時的なものです。

担当：子ども生活部子育て支援課

◆Ⅱ-2-個別目標2 サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

【個別目標の解説】

- ① 保育施設がサービスの質の向上と外部評価を行い、その結果が利用者に提供されるようにします。

金森保育園の「ISO9001」認証取得と普及

保育サービスの質の向上と利用者の満足度の高い保育園経営を行うため、公立保育園におけるISO9001の認証取得の取り組みを進め、2007年3月に市立金森保育園が認証を取得しました。2007年度以降は、金森保育園でのISOのノウハウを他の市立保育園に広めるためにISO連絡会を開催しています。

担当：子ども生活部子育て支援課

【用語解説：ISO9001】ISOは、国際標準化機構が制定する国際規格です。「ISO9001」は、この国際規格のひとつでQMS（クオリティマネジメントシステム＝組織の業務の品質を向上するための仕組み）と呼ばれます。QMSは業務の改善、効率化や新たな事業等の実施を目標に顧客のニーズを踏まえながら、業務の標準（Standard＝スタンダード）をつくることから始まります。この標準に基づき、業務や事務を実施し、実施後に成果・効果の測定、分析を行います。その結果に基づいて改善を行い、改善点を加えた新たな業務標準をつくります。このサイクルを繰り返しながら業務を管理することがQMSです。

重点目標3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

【重点目標の解説】

- ① きめ細やかな支援が必要な子どもと家族が必要な支援を必要な時に受けることができるようにします。

◆Ⅱ-3-個別目標1 障がいのある子どもと家族への支援

【個別目標の解説】

- ① 障がいのある子どもと家族がいろいろな生活の場面で必要な時に必要な支援を受けることができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|----------------------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------|----|
| 障がい児通園促進事業の対象となった幼稚園児数(のべ) | 人 | 917 | 1,088 | 1,134 | 子ども生活部 子ども総務課 | |

子ども発達センターすみれ教室

すみれ教室は、発達に遅れや心配のある就学前の乳幼児に対して、専門的な指導により、身体的・精神的な発達を助長し、基本的な生活習慣、社会への適応を図ることと、その保護者を支援することを目的としています。

その沿革は、1971年8月、心や身体にハンディキャップのある乳幼児の保護者から「市内に心身障がい児のための生活並びに訓練の場を作って欲しい」との切実な願いがきっかけとなって、同年12月「町田市心身障害児を守る会（すみれ会）」の結成と同時に、市から福祉会館の一室と機械器具の提供を受けて保護者運営の教室「すみれ教室」としてスタートし、障がいのある子どもを持つ親同士の連帯をつくる場としての役割をも果たしてきました。

その後、すみれ会から「未就学児の唯一の施設であるため一層の発展を」との要望を受け、1972年8月、旧さるびあ図書館を改造、移転。1972年10月に町田市療育機関として位置づけされ、職員と施設の充実を図り、1983年4月の「すみれ会館」の完成により全面移転し、親子通園施設として今日に至っています。

この30数年の間に、通園児の増加・低年齢化・幼稚園や保育園の受け入れの拡大、相談部門のニーズの増加などに対し、教室の規模は大きくなりサービス内容も多様になってきました。2004年4月、事業の一部を定員40名の措置通園部門（児童福祉法第7条に定める知的障害児通園施設）として開設し、施設の名称も「町田市子ども発達センターすみれ教室」と改めました。

障害者自立支援法の施行に伴い、2006年10月に児童福祉法が改正され、措置制度から契約方式に変わりました。これに伴い、当センターの措置通園部門も認可通園部門へ呼称を変更しました。

◆所在地 町田市中町 2-13-14

担当：子ども生活部すみれ教室

障がい児の幼稚園通園の促進

医療機関等で特別な配慮・個別的な配慮を必要とするとの診断を受けた児童を受け入れている市内の私立幼稚園に対し、受入の人数に応じて経費の一部を市が負担しています。

担当：子ども生活部子ども総務課

【すみれ教室通園児童数の推移（2004年度以降）】（人）

| 年度 | 親子通園部門 | 相談部門 | 認可通園部門 |
|------|--------|------|--------|
| 2004 | 132 | 409 | 40 |
| 2005 | 124 | 414 | 40 |
| 2006 | 119 | 491 | 40 |
| 2007 | 106 | 523 | 40 |
| 2008 | 121 | 541 | 40 |

* 措置通園部門は、2006年10月より認可通園部門へ呼称を変更しています。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|-------|--------|--|---------|---------|------------|
| 学校教育部 | 特別支援教育 | 新しい障がい教育－特別支援教育が2007年4月からスタートし、特別な支援を要する児童生徒に対するサポート体制として巡回指導員を派遣した。また、医師や心理療法士等の資格を有する方で構成されている特別支援教育専門家チームによる学校訪問を実施し、現場での問題に対応した。 | 市立小・中学校 | 市内小・中学校 | 指導課教育センター係 |

◆Ⅱ-3-個別目標2 ひとり親家庭への支援

【個別目標の解説】

- ① ひとり親家族が自立し、経済的な不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|----------------|---|---|------|------------------|
| 子ども生活部 | ひとり親家庭等医療費助成制度 | 平成3年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日までの)児童を養育しているひとり親家庭、又は父か母が重度の障がい有する家庭に対して、保険の自己負担分の医療費を助成する制度 | ・生活保護を受けていないこと ・所得限度額をこえていないこと | — | 子ども総務課・ひとり親家庭助成係 |
| | 児童育成手当(育成手当) | 平成3年4月2日以降に生まれた児童を養育しているひとり親家庭、又は父か母が重度の障がい有する家庭に対して、手当を支給している。 | ・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと | — | 子ども総務課・ひとり親家庭助成係 |
| | 児童扶養手当 | 平成3年4月2日以降に生まれた(一定の障がいのある場合は20歳の誕生日の前日の属する月までの)児童を養育している母子家庭に対して、手当を支給している。 | ・公的年金を受けていないこと ・児童が施設に入所していないこと ・所得限度額を超えていないこと | — | 子ども総務課・ひとり親家庭助成係 |

◆Ⅱ-3-個別目標3 外国籍家族への支援

【個別目標の解説】

- ① 外国籍家族が言語・文化の違いやコミュニケーション不足についての不安を持つことなく生活や子育てをすることができるようにします。

外国語版子育て情報パンフレット

子どものための手当、健診、保育園・幼稚園などについての簡単な案内と問い合わせ先等を記載したパンフレット。2006年に発行した英語版の改訂を行った。

担当：子ども生活部子ども総務課

◆Ⅱ-3-個別目標4 被虐待児(DV家族児童を含む)と家族への支援

【個別目標の解説】

- ① 虐待を受けた子どもと子どもを虐待した家族が立ち直るための支援を受けることができるようにします。

子ども家庭支援センター

子どもや家庭の問題に総合的に対応する相談機関です。0歳から18未満のお子さんとその家庭のあらゆる相談に応じます。児童虐待をはじめとする子どもを取り巻く様々な問題に対処するため、関係機関や地域と緊密な連携をとりながら子育てを支援しています。

2006年度には、児童虐待の防止・予防のための啓発冊子「子育て奮闘記～しつけ それとも虐待!？」を作成し、配布しました。

ショートステイ、トワイライトステイ(P.31)、育児支援ヘルパー派遣(P.29)等のサービスを行っています。また、センターには、小さいお子さんが親子で過ごせる交流スペースもあります。

◆ 所在地 町田市森野3-11-16

担当:子ども生活部子育て支援課 子ども家庭支援センター

【子ども家庭支援センターの相談件数の推移】

相談件数

| 年 度 | 被虐待 | 養護 | 育成・ 不登校 | 非行 | 発達 | 性格・ その他 | 計 |
|------|-----|-----|------------|----|----|------------|------|
| 2002 | 84 | 189 | 39 | 9 | 10 | 11 | 342 |
| 2003 | 82 | 175 | 18 | 7 | 33 | 123 | 438 |
| 2004 | 81 | 215 | 30 | 7 | 14 | 69 | 416 |
| 2005 | 78 | 175 | 34 | 3 | 4 | 56 | 350 |
| 2006 | 97 | 318 | 138 | 10 | 14 | 322 | 899 |
| 2007 | 81 | 278 | 136 | 10 | 32 | 367 | 904 |
| 2008 | 122 | 261 | 131 | 3 | 19 | 467 | 1003 |

※2006年度より電話相談件数含む

○基本目標Ⅲ 子どもが地域の中で大切にされている

■重点目標1 人と人が関わりつながる場をつくる(家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

【重点目標の解説】子育てをしている親と地域の人が、子どもは地域の支えあいの中で育つということを理解できるようにします。

- ① 子どもと子育てをしている家族が地域の人と絆を深めることができるようにします。

◆Ⅲ-1-個別目標1 地域の人材育成と人材活用

【個別目標の解説】

- ① 青少年活動を指導することのできる大人と子ども（ジュニアリーダー等）が地域で育ち、地域で青少年を対象とした活動が活発に行われるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|--------------------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------|----|
| 子どもサークルリーダー研修会参加者数(のべ人数) | 人 | 146 | 248 | 164 | 子ども生活部 児童青少年課 | |

子どもサークルリーダー研修会

市内在住・在勤・在学の18歳以上の青少年に関わる活動を実施している方を対象とした地域における青少年指導者の育成講座です。7月・10月・11月に子どもに関わる講義や実技などを計13回のカリキュラムで実施しました。

担当:子ども生活部児童青少年課

アダプト・ア・ロード/トンネル擁壁への壁画作成

市が管理する道路施設等で自発的な管理活動を希望する市民活動団体と協定を締結して活動していただくものです。参加対象を限定しているものではありませんが、この事業において、市内の中高生が道路用地を利用して花壇を手がけています。

担当:建設部道路管理課・市民協働担当

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|--|---|----------|-----------------|------------------------|
| 子ども生活部 | 子どもセンター つるっこ運営委員会 | 子どもセンターつるっこの運営に関わる事項について調査・検討する。全4回 | 市民・子ども委員 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・ 子どもセンターつるっこ |
| 政策経営部 | さがまちコンソーシアム 大学「ジュニアアスリートの親のためのスポーツ講座」 | スポーツをしている子どもたちのよきサポーターとして、日常生活の中で心がけたいポイントを全3回の講座を通して学んだ。 | 小中学生の親 | 相模女子大学 | 企画政策課 |

◆Ⅲ-1-個別目標2 地元事業所・商店の関わり

【個別目標の解説】

- ① 子どもや子どもを持つ親が地元事業所・商店会・商店を利用した子育て支援を受けられることができるようにします。

子どもセンターばあんの「子どもまつり」

子どもセンターばあんでは、子どもまつりとして「たんじょう祭」「夏まつり」「冬まつり」、(3大まつりと呼んでいます)を毎年行っています。このおまつりは、子ども委員会、運営委員会だけではなく、商店街・自治会・民生委員・郵便局・「ばあんの会」等地域の方々との協同による、地域のイベントとして実施しています。

担当:子ども生活部児童青少年課・子どもセンターばあん

食育「地元商店街での買い物」

市立町田保育園では、食育の一環として、ほぼ毎日、給食やおやつを地元の商店に買い物に出かけます。食事の材料を直接目にするだけでなく、商店の方とのコミュニケーションや商店街との協働も期待されます。

担当:子ども生活部子育て支援課・町田保育園

◆Ⅲ-1-個別目標3 体験できる場(多様な体験ができる機会を増やす)

【個別目標の解説】

- ① 子どもが様々な体験や人との関わりから学び成長していくことができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度実績値 | 2007年度実績値 | 2008年度実績値 | 指標数値出典(所管課) | 備考 |
|--------------------------------------|----|-----------|-----------|-----------|--------------------|-----------|
| 冒険遊び場の数 | 箇所 | 3 | 3 | 3 | 子ども生活部児童青少年課 | ※中期経営計画指標 |
| 自分の子どもが野外活動やボランティアの活動に参加した保護者の割合(再掲) | % | 27.1 | 28.0 | 32.7 | 市民意識調査(政策経営部企画調整係) | ※中期経営計画指標 |

国際理解教育の推進・国際交流事業

〔国際交流事業〕2006年度から国際理解教育の推進の一方法として学校ネットワークを活用し、児童・生徒が電子メールを通して外国人と直接交流し、文化や風土、教育環境の相違などを体験することにより教育活動の推進を図った。

担当:学校教育部指導課

地球一日博物館

今日の環境問題について関心を深めてもらうきっかけ作りの場として①ソーラーカーや天然ガス自動車、電気自動車などの先進技術の展示、②地球環境をテーマとした児童絵画や市内小学校、団体での取り組みの紹介、③環境映画の上映、④捨てる材料を使った造形遊び、環境クイズ、各種ゲームなどを実施。

担当:環境資源部環境保全課

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|-----------|---------------------------------------|--|------------------------|----------------------|-------------------|
| 学校教育部 | 中学2年生の職場体験 | 中学2年生が事業所・団体等で連続5日間の職場体験を実施した。 | 市立中学校2年生 | 市内及び近隣市の事業所・団体等 | 指導課管理係 |
| 生涯学習部 | こどもえいが会 | 本に親しみを持ってもらうため、映画を上映し、その関連する本を紹介した。 | 幼児および小学生 | 中央・木曾山崎・堺 図書館 | 図書館 |
| | にんきものをさがせ | こどものひろばの書架に、本に出てくるキャラクターに関する問題を設置し、答えを本から探し出すウォークラリークイズ。年に3回、夏休み・春休み・冬休みにあわせて実施した。 | 幼児および小学生 | 中央図書館 | 図書館 |
| | よんだことをえにしちゃお | 本を読んで感じたことを絵にもらった読書観想画展。夏休みに作品を募集し、秋に中央図書館こどものひろばの壁面に作品を展示した。 | 幼児および小学生 | 中央図書館 | 図書館 |
| | ブックトーク | それぞれ設定したテーマにあわせて、絵本・物語・知識の本を紹介した。 | 幼児および小学生 | 中央図書館 | 図書館 |
| | 1日図書館員 | 夏休み期間中に、希望者に、図書館業務を1日体験してもらった。本の配架、カウンター業務、本の装備などを体験した。 | 中・高校生 | 中央図書館 | 図書館 |
| | ヤングアダルト展 | 主に10代の子どもたちが描いた絵や、制作した作品を展示コーナーに展示した。 | 主に中・高校生 | 中央図書館 | 図書館 |
| | 子ども俳句教室 春・秋 | 日本の伝統文化である俳句に親しんでもらいながら5・7・5のことば遊びを楽しむ。 | 小学生 | 文学館・七国山・小山田緑地・薬師池公園他 | 図書館(文学館) |
| | 子ども年賀状教室 | 千支の年賀状を作り、自分のことばとイラストを届ける。 | 小学生・中学生 | 文学館 | 図書館(文学館) |
| | ことばであそぼう！ 絵手紙で暑中見舞い | ことばを大事にする絵手紙で暑中見舞いを作成。 | 小学生 | 文学館 | 図書館(文学館) |
| | ことばであそぼう！ クリスマスお楽しみ会 | 体を使ったリズム運動のリトミックで、わらべ歌やしりとり、反対語などのことば遊びを楽しむ。 | 5歳～小(親子可) | 文学館 | 図書館(文学館) |
| | 春休み子どもフェア影絵劇スタジオライブ公演 | 子どもから大人までよく知られた物語を、静かなストーリーテリングと美しい影絵で表現した作品に触れることによって、想像の世界に遊ぶ楽しさを見出す公演(午前・午後の2回) | 町田市内在住の方 | まちだ中央公民館 | 公民館 |
| 子ども生活部 | プログラムサービス | 地域の子ども会等の団体を対象に、野外炊飯や工作などを行う。出張制度もあり。 | 子ども会等の団体 | ひなた村・地域 | ひなた村 |
| | げんきっず | 就学前乳幼児とその保護者が、ゲーム等を行ったり、遊んだりする。 | 就学前乳幼児、保護者 | ひなた村 | ひなた村 |
| | のびっこあそび隊 | 子どもセンターのない地域に子どもセンターの遊びを紹介する。高校生がボランティアとして活動することも意図した事業。8回実施 | 堺地区周辺に居住する、0歳～18歳までの児童 | 小山白山公園 | 児童青少年課・子どもセンターばあん |
| 政策経営部 | さがまちコンソーシアム大学「チャレンジコースでアドベンチャー体験をしよう」 | tap(玉川アドベンチャープログラム)をベースに様々なグループワークを通じて、人とかかわり方やコミュニケーションスキルを体験的に学んだ。 | 親子 | 玉川大学 | 企画政策課 |
| 文化スポーツ振興部 | 夏休み子ども音楽祭 | ポップス、クラシック、ジャズ、アンサンブルなど | 小学生・中学生 | 町田市民ホール | 指定管理者 |
| | 子ども博物館 | 堺地区を屋根のない博物館と見たて、プラネタリウム、機織教室などを開催。 | 小・中学生 | 堺市民センターほか | 博物館 |
| | 子ども講座①② | アーティストを講師に招き、制作を通して美術と美術館に親しむ。 | 小学生 | 国際版画美術館・アトリエ | 国際版画美術館・普及係 |
| | 夏期子ども講座 | 東京学芸大学・清野泰行准教授とその研究室ゼミ生徒の指導による、版を使った制作。出来上がった作品は、指導したゼミ生徒の作品とともに市民展示室で展示発表する。 | 小学3～6年生 | 国際版画美術館・アトリエ | 国際版画美術館・普及係 |
| 議会事務局 | 市制50周年記念事業一日体験議会DAY「まちだ中学生議会」 | 【中学生議会】中学生議員による提案・質問。テーマ「こうい町田になってほしい～もし私が市長だったら～」【懇談会】中学生議会に対する感想・意見を聞く | 中学生 | 町田市議会議事堂 | 議会事務局 |

Ⅲ-1-個別目標4 交流できる場(子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場をふやす)

【個別目標の解説】

- ① 子どもや子どもを持つ親が身近な場所で様々な人と気軽に交流することができるようにします。
- ② 子どもが身近な場所で気兼ねなく時間を過ごすことができるようにします。

【指 標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|-----------------------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------|---|
| 子どもセンターの施設数 | 館 | 2 | 2 | 2 | 子ども生活部 児童青少年課 | ※中期経営計画指標 |
| 子どもセンター・子どもクラブの 1日平均来館者数 | 人 | 726 | 764 | 767 | 子ども生活部 児童青少年課 | 子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、南大谷子どもクラブ、玉川学園ころころ児童館の4館の合計を開館日数でわったもの |
| 地域子ども教室助成団体数 | 団体 | 6 | 5 | 7 | 子ども生活部 児童青少年課 | |

子どもセンター・子どもクラブ

「子どもの成長・発達を促す遊びの拠点」と「核家族化・少子化が進むなかでの子育て支援」を理念として、1999年5月子どもセンター1号館「ばあん」がオープン。2000年1月に「南大谷子どもクラブ」、2003年4月に「玉川学園子どもクラブころころ児童館」、2005年4月子どもセンター2号館「つるっこ」がオープンしました。乳幼児から高校生までが集える場として、来館者は「けがと弁当は自分持ち」の精神で、自分の責任で利用しています。市内に5館を目標に整備を進めており、2009年度には3号館が相原地区にオープンする予定です。また、忠生地区の子どもセンターの整備についても検討を始めています。

担当:子ども生活部児童青少年課

地域子ども教室

国(文部科学省)が、地域の「子どもの居場所」づくりのために2004年より2006年度まで実施し、2007年度からは市が助成している事業です。学校の校庭や教室を使い、地域の方がスタッフとなって、各地域の教室で様々なプログラムを行っています。

担当:子ども生活部児童青少年課

冒険遊び場への補助

冒険遊び場活動を行う団体に補助金を交付し、その活動を支援しました。2007年度は、「子ども広場 あそべこどもたち」、「野津田・雑木林の会 きつねのはらっぱ冒険遊び」、「相原冒険遊びの会」の3団体に補助金を交付しました。

【用語解説:冒険遊び場】地域の人たちを中心に運営されている子どもたちの遊びの拠点。全国で200ヶ所以上開催されています。

担当:子ども生活部児童青少年課

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|-------|--------------------|--|------------------------------------|----------|----------|
| 生涯学習部 | おひぎでだっこのおはなし会 | 乳幼児とその保護者に本および図書館に親しみをもってもらうため、絵本、手遊び、わらべうたを行っている。 | 乳幼児と保護者 | 中央図書館 | 図書館 |
| | 紙しばいの時間で | 紙芝居を楽しみ、親子の気持ちいい時間を共有する。 | 乳幼児親子 | 文学館 | 図書館(文学館) |
| | 親子の交流ひろば きしゃポップ | 初めて子どもを持つ親の子育て支援や仲間づくりの支援講座(全43回) | ・第1子の0歳児を持つ親と子 ・マタニティの方とそのパートナー | まちだ中央公民館 | 公民館 |

◆Ⅲ-1-個別目標5 子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

【個別目標の解説】

- ① 子どもセンターが地域の子どもの様々な活動の中心として動くことができるようにします。

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|--------|------------------------|---|---------------------------------|----------------------|------------------------|
| 子ども生活部 | ぼつぷんたいむ in 三輪センター | 体操・手遊び・運動遊び・工作・おはなしなど。地域的に離れたところへの親子遊びの出張サービス。全3回 | 0才～幼児と保護者 | 三輪センター | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | つるっこあにばーさりい 3 | 地域の協力を得た開館記念事業。 | 幼児～市民 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | ふれあい活動「大人も子どもみんなまで遊ぼう」 | 青少年健全育成鶴川第三地区委員会主催のふれあい活動。昔遊び・レクゲーム・こうさくコーナーなど。 | 幼児～市民 | 子どもセンター つるっこ | 児童青少年課・子どもセンター つるっこ |
| | チャレンジ・チャンピオン(大会) | 毎月1回いろいろなテーマでだれでも参加できる形態での大会で、いろいろなものにチャレンジする中で自己実現と友達との交流を目的としている。全10回 | 小学生以上 18歳まで | 南大谷子どもクラブ | 児童青少年課・南大谷子どもクラブ |
| | 高学年チャレンジクッキング | 小学4年生以上の子供たちが1年間、話し合いにより活動日・活動内容を決定し、準備から片づけまで自分でできる様に・・・というのが目標で今年で3年目を迎えた。全10回 | 小学4年生以上 18歳まで | 南大谷子どもクラブ | 児童青少年課・南大谷子どもクラブ |
| | ちびっこあそび隊 | 親子での遊び、子ども同士の交わり、親同士の情報交換等を通して、子育ての楽しさを感じてもらおうことをねらいとしている。子どもセンターのない地域で行う出張子育て支援事業。9回実施 | 小山・忠生地区周辺に居住する、在宅で子育てをしている家庭の親子 | 小山市民センター 忠生市民センター | 児童青少年課・子どもセンター ばあん |

■重点目標2 一人ひとりに情報が確実に届く

【重点目標の解説】

- ① 子どもと子育て中の親が、必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

◆Ⅲ-2-個別目標1 子どもと親への情報を確保する

【個別目標の解説】

- ① 子どもと子育て中の親が必要とする時に必要な情報を得ることができるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度実績値 | 2007年度実績値 | 2008年度実績値 | 指標数値出典(所管課) | 備考 |
|-------------------|----|-----------|-----------|-----------|------------------|----|
| 子育てひろばカレンダーの配布箇所数 | 箇所 | 132 | 137 | 142 | 子ども生活部 子育て支援課 | |

子育てひろばカレンダー

「子育てひろばカレンダー」は、各保育園のいろいろなイベント情報等を市内5地域(南、町田、鶴川、堺、忠生)に分けて毎月紹介している情報紙です。掲載している保育園や各公共施設等で配布しています。また、町田市公式ホームページの「子育てひろばカレンダー」(下記URL)からもご覧いただけます。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kodomo/hirokare/index.html>

担当:子ども生活部子育て支援課

町田市公式ホームページ・キッズページ

町田市の面積、人口、歴史、市役所の仕事、遊び場・学び場、イベント情報、相談コーナー紹介する子ども向けのホームページです（URLは下記）。

子ども生活部各課のメンバーを中心に毎月、担当者会議を開催し、キッズページの内容をより充実するための検討を行っています。

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kids/>

担当：子ども生活部子ども総務課

子育て情報誌「のびっこ」

町田市の保育園・幼稚園、保健事業、手当・医療費助成制度、相談窓口、病院、公共施設などの子育て情報をまとめた冊子を作成し、3・4ヶ月健診の際に保護者に配布するとともに公立保育園等でもご希望の方に配布しています。

担当：子ども生活部子育て支援課

■重点目標3 みんなで安全・安心のまちをつくる

【重点目標の解説】

- ① 子どもや乳幼児を育てている親が地域や家庭で安心して日常生活を送ることができるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|---|----|---------------|---------------|---------------|------------------------|---|
| 今住んでいる地域が、子どもが安全で健やかに育つ環境になっていると思う市民の割合 | % | 33.9 | 32.2 | 41.1 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいかほど評価が高い。 |

◆Ⅲ-3-個別目標1 子どもの安全・安心を確保する

【個別目標の解説】

- ① 子どもが地域や家庭で事故や事件に遭う心配をすることなく日常の生活を送ることができるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|-----------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------|----|
| 「子ども110番の家」の箇所数 | 箇所 | 5607 | 5769 | 5863 | 子ども生活部 児童青少年課 | |

子ども110番の家

子どもが危険に直面した際に緊急避難先として駆け込むことができる建物であることを示す看板の設置を各小学校PTAや自治会・町内会とともにすすめています。また、市内郵便業株式会社のバイク及び集配車にも「子ども110番」のシート・ステッカーを掲示しています。

担当：子ども生活部児童青少年課

CAPプログラム

子どもの権利と危険な場面から身を守る方法「CAPプログラム」を学ぶ講座。子どもワークショップと、大人が子どもを支援する方法を学ぶ大人ワークショップを実施しました。

担当：市民部市民協働推進課・男女平等推進センター

♪この個別目標を実現するために実施している事業♪

| 部名 | 事業名 | 事業の概要 | 対象 | 実施場所 | 所管課 |
|-------|----------------|--|-----------------------|---------|-------|
| 学校教育部 | セーフティ教室 | 小、中学校において児童・生徒の健全育成の活性化及び充実を図るとともに、保護者・市民の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育を推進した。 | 町田市立小中学校に通う児童・生徒及び保護者 | 小・中学校 | 指導課 |
| | 通学路安全点検 | 小学校のPTAからの要望に基づき町田市の関係部署や警察署が個別にまた合同で危険箇所を回り、注意看板の設置や樹木の剪定によって死角を減らす措置を講じ、地域における児童の安全を促進した。 | 町田市立小学校に通う児童の保護者 | 各小学校通学路 | 学務課 |
| 建設部 | 自転車運転教室 | 各小学校・団体等からの申し込みを受け、町田警察署・南大沢警察署と共催で自転車教室を開催しています。交通安全教育講習・自転車実技講習・筆記試験を受けた3年生以上の子ども達に「町田市自転車運転免許証」を交付します。 | 子どもと大人 | 各小学校他 | 交通安全課 |
| | 中学生体験型交通安全講習 | プロのスタントマンが、実際にあった交通事故を目の前で再現する体験型の交通安全講習です。事故の状況を直視することで恐怖を体験し、加害者・被害者の気持ちを考える取り組みとして、町田警察署・南大沢警察署との共催により中学生を対象に2009年度から開催しています。 | 子どもと大人 | 各中学校 | 交通安全課 |
| | 新入学児童用交通安全教本配布 | 毎年4月に小学校1年生を対象に交通安全に関する教本を配布し、通学時等の交通事故防止を呼びかけています。 | 子どもと大人 | 小学校にて配布 | 交通安全課 |

◆Ⅲ-3-個別目標2 子育てしやすいまちづくりをする

【個別目標の解説】

- ① 幼児や乳幼児を連れた親がまちの中を容易に移動できるようにします。
- ② 乳幼児を連れた親が外出中に外出先で子どもの世話を容易にできるようにします。
- ③ 乳幼児を持つ親が必要なときに子どもを預けて外出することができるようにします。

【指標】

| 指標名 | 単位 | 2006年度 実績値 | 2007年度 実績値 | 2008年度 実績値 | 指標数値出典 (所管課) | 備考 |
|---------------------------------------|----|---------------|---------------|---------------|------------------------|--|
| 緊急な用事などの時に子どもを一時的に預けることができたと答えた保護者の割合 | % | 47.5 | 49.5 | 50.0 | 市民意識調査 (政策経営部企画調整課) | 10段階評価の評価7以上の割合。評価10が最高得点。数値が大きいほど評価が高い。 |

みんなのおでかけマップ

町田市の補助を受けてNPO法人が運営しているホームページ「町田市バリアフリーマップ」の情報のうち「みんなのトイレ」が整備された施設を基本に外出支援情報を掲載した冊子です。「みんなのトイレ」の他に授乳室、車いす対応駐車場等についても記載しています。また、公共施設の多い町田駅周辺については、地図上に施設等の位置とバリアフリー情報を表示しています。

- みんなのトイレ 車いす利用者をはじめ、障がい者・高齢者・乳幼児を連れた方等のみんなが利用できる大きさ・機能・設備等のあるトイレです（施設により介助が必要な場合があります）。

町田市バリアフリーマップ : <http://www.barrierfree-machida.com/>

担当：地域福祉部福祉総務課

5. 特定 12 事業における実績と目標事業量

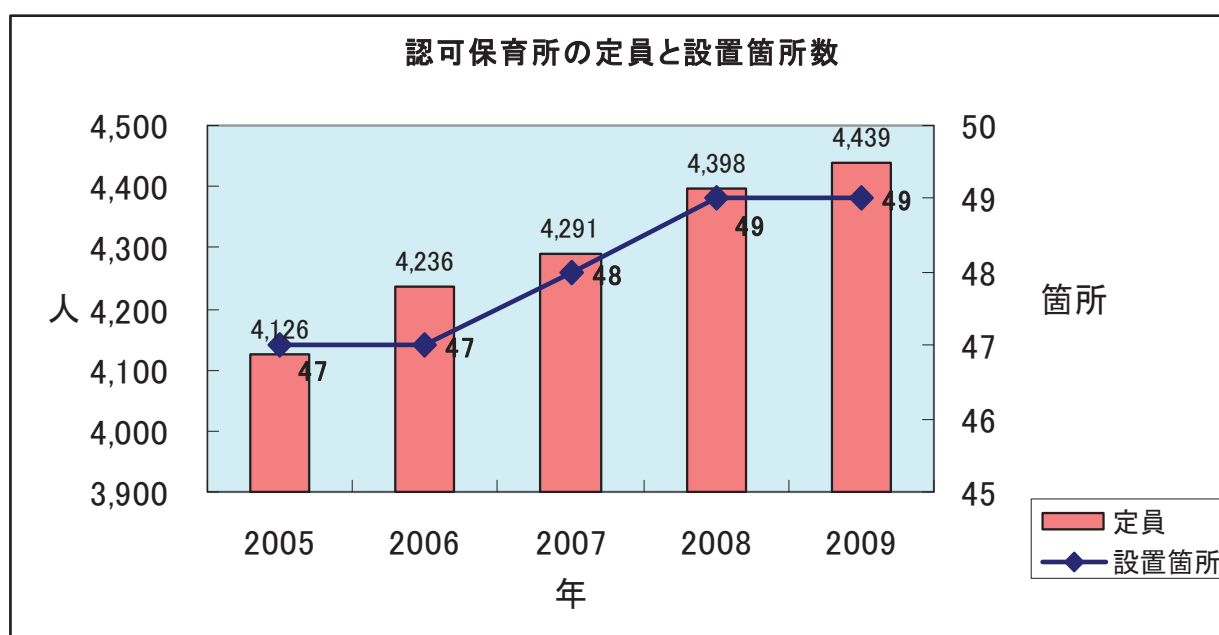
1. 通常保育事業

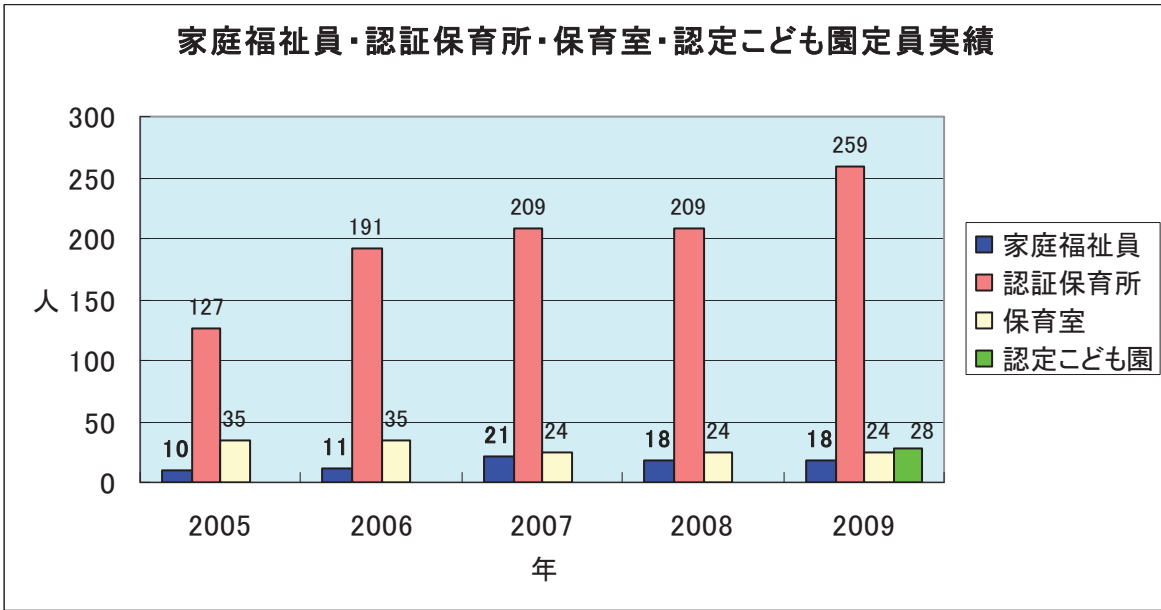
通常保育事業とは、認可保育所（国が定めた設置基準をクリアし、都道府県に認可された施設）および認証保育所（東京都独自の基準で設置した施設）、保育室（東京都が定めた小規模な認可外保育施設）、家庭福祉員（区市町村が認定した家庭福祉員の自宅で保育する制度）、認定こども園（幼稚園等が教育と保育の両方の機能を提供する施設）を合わせた保育サービスのことで、

(1) 実績（各年4月1日の定員）

| | 認可保育所 | | 家庭福祉委員 | | 認証保育所 | | 保育室 | | * 認定こども園 | |
|-------|-------|-----|--------|-----|-------|-----|-----|-----|----------|-----|
| | 定員 | 箇所数 | 定員 | 箇所数 | 定員 | 箇所数 | 定員 | 箇所数 | 定員 | 箇所数 |
| 2005年 | 4126 | 47 | 10 | 3 | 127 | 5 | 35 | 3 | | |
| 2006年 | 4236 | 47 | 11 | 3 | 191 | 7 | 35 | 3 | | |
| 2007年 | 4291 | 48 | 21 | 5 | 209 | 7 | 24 | 2 | | |
| 2008年 | 4398 | 49 | 18 | 4 | 209 | 7 | 24 | 2 | 0 | 0 |
| 2009年 | 4439 | 49 | 18 | 4 | 259 | 7 | 24 | 2 | 28 | 1 |

* 認定こども園は、認可外保育部分（0歳～2歳）のみの定員を記載しています。認可外保育部分は2008年5月1日から開園したため、4月1日の定員は0になっています。

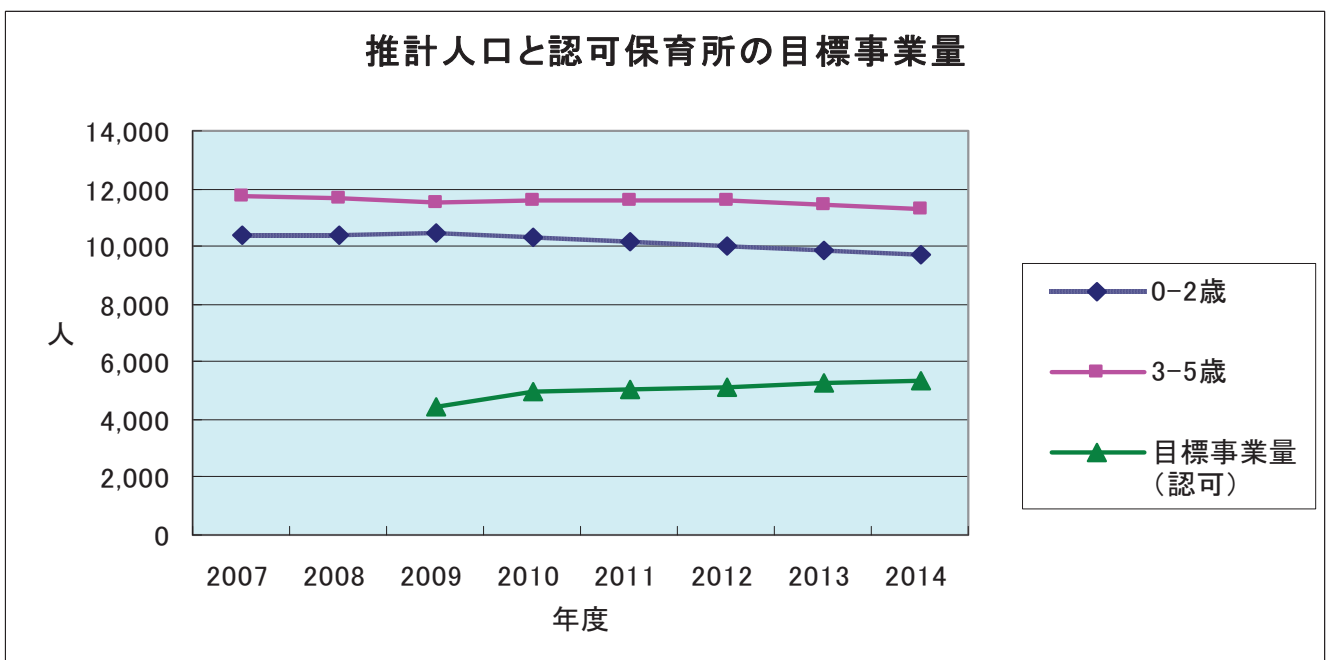




(2) 目標事業量

利用実績等を参考に、以下のとおり目標事業量を設定しました。

| | 認可保育所 | | 家庭福祉員 | | 認証保育所 | | 保育室 | |
|------------------------|--------|------|-------|------|-------|-----|-----|-----|
| | 人数 | 箇所数 | 人数 | 箇所数 | 人数 | 箇所数 | 人数 | 箇所数 |
| 2009年 4月1日 現在の定員 | 4,439人 | 49箇所 | 18人 | 4箇所 | 259人 | 7箇所 | 24人 | 2箇所 |
| 2014年度 目標事業量 | 5,578人 | 60箇所 | 92人 | 20箇所 | 269人 | 7箇所 | 12人 | 1箇所 |

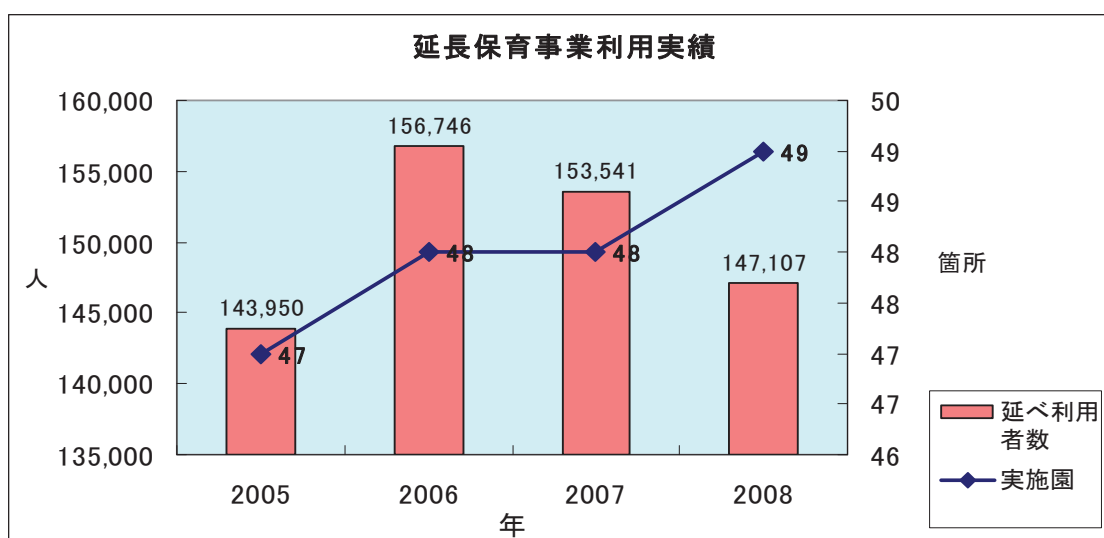


2. 延長保育事業

延長保育事業とは、基本となる 11 時間（おおむね 7 時から 18 時）保育の前後の時間を延長して行う保育のことです。町田市では、49 箇所の認可保育園で延長保育事業（18 時以降の保育）を行っています。

(1) 実績

| | 年間のべ利用人数 | 実施園 |
|--------|-----------|-----|
| 2005 年 | 143,950 人 | 47 |
| 2006 年 | 156,746 人 | 48 |
| 2007 年 | 153,541 人 | 48 |
| 2008 年 | 147,107 人 | 49 |



| 延長保育時間 | 2009 年 4 月 1 日 現在の実施園 |
|-------------------|--------------------------|
| 1 時間延長（19 時まで）実施園 | 33 園 |
| 2 時間延長（20 時まで）実施園 | 14 園 |
| 3 時間延長（21 時まで）実施園 | 1 園 |
| 4 時間延長（22 時まで）実施園 | 1 園 |

(2) 延長・夜間・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量（アンケートによる希望数値）

| | 18～20 時未満 | 20～22 時未満 | 22 時～翌朝 5 時 |
|---------------|-----------|-----------|-------------|
| 2014 年度推計ニーズ量 | 6,128 人 | 1,427 人 | 171 人 |

<説明>

延長保育事業・夜間保育事業・トワイライトステイ事業の推計ニーズ量は、18 時以降を3つの時間帯(18～20 時未満、20 時～22 時未満、22 時～翌朝 5 時まで)で区切り、国が示した項目により、利用希望を調査しました。希望数値の中には、現在このサービスを使っていない人と現在すでに利用し、時間延長を希望する人の数も含まれます。

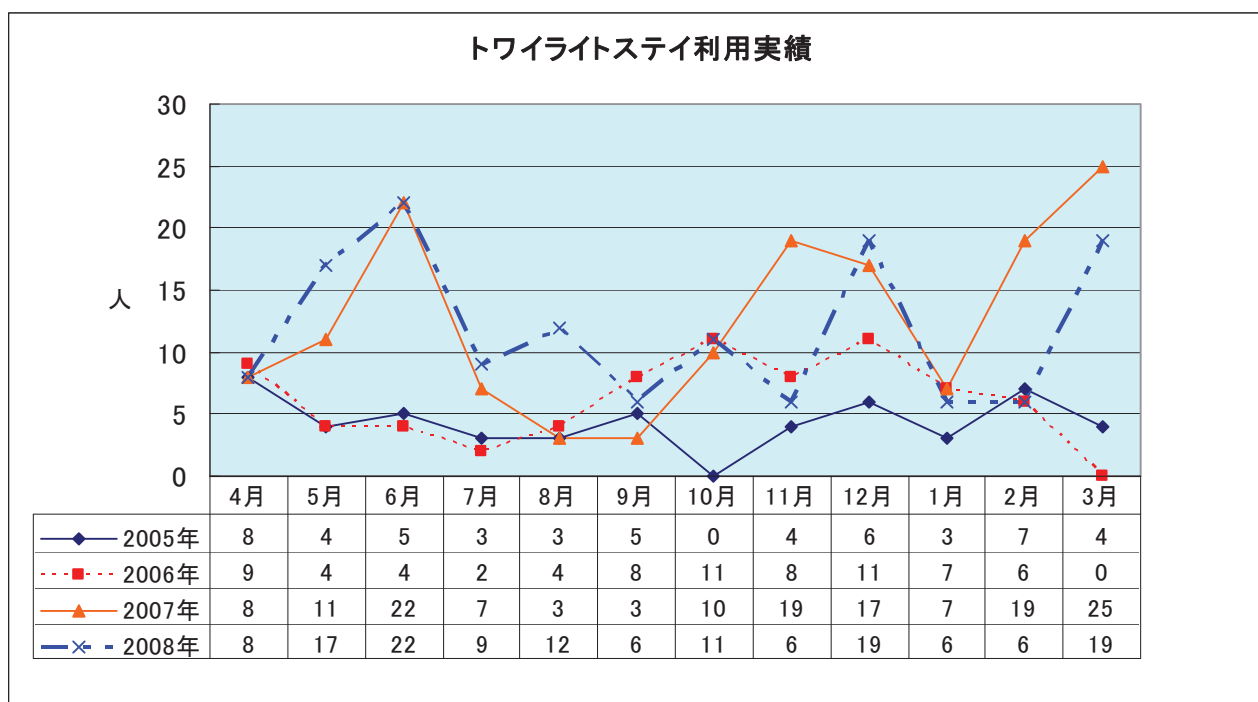
3. 夜間保育事業

夜間保育事業とは、児童福祉法に基づく設置認可を受けた保育所が 22 時頃までの保育を行うことです。町田市では現在、夜間保育事業は行っていませんが、市立町田保育園が 22 時までの延長保育を実施しています。今後は市立町田保育園における4時間の延長保育の利用状況等を見ながら検討していきます。

4. トワイライトステイ事業

トワイライトステイ事業は、保護者の方が仕事や家族の介護等で帰宅が夜間におよぶ際に、お子さんを 22 時までお預かりする保育サービスです。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

| | 定員 | 箇所数 | 2005年～2008年 利用実績 |
|--------------------|----|-----|---------------------|
| 2009年4月1日 現在の定員 | 5人 | 1箇所 | 1日平均 0.29人 |
| 2014年度目標事業量 | 5人 | 1箇所 | (月30日として計算) |

* 目標事業量は国の指定により、定員で算出することとなっています。
実績を考慮し、設定しています。

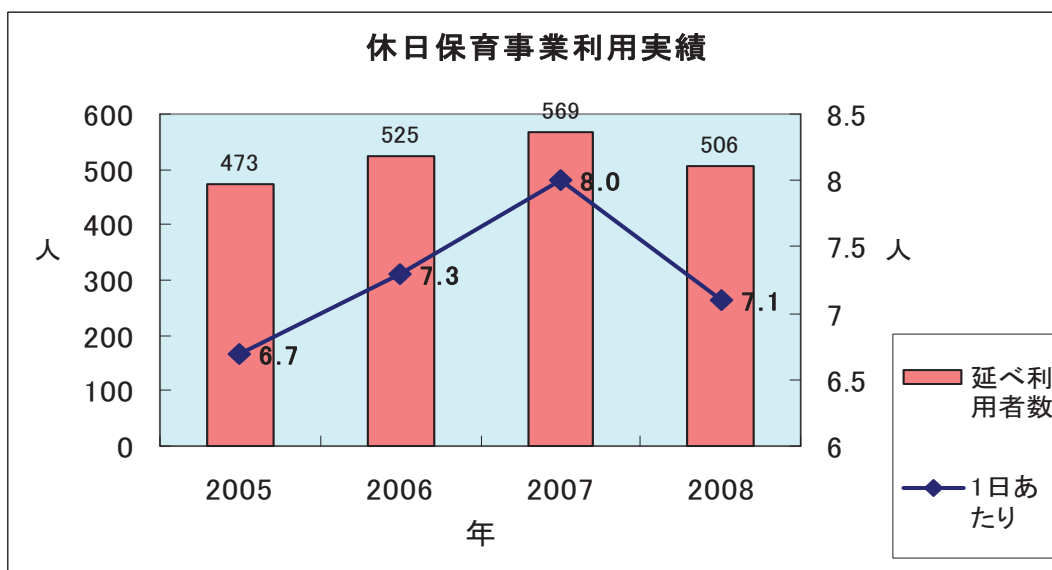
5. 休日保育事業

休日や祝日に仕事・看護・冠婚葬祭等の理由で家庭保育ができないときに、お子さんをお預かりする保育サービスです。(年末・年始は除きます) 町田市では、市立わかば保育園で行っています。

(1) 実績

| 年度 | 施設数 | 年間のべ 利用者数 | 休日1日 平均利用数 | 1日あたり 利用可能人数 |
|--------|-----|--------------|---------------|-----------------|
| 2005年度 | 1箇所 | 473人 | 6.7人 | 20人 |
| 2006年度 | 1箇所 | 525人 | 7.3人 | 20人 |
| 2007年度 | 1箇所 | 569人 | 8.0人 | 20人 |
| 2008年度 | 1箇所 | 506人 | 7.1人 | 20人 |

*年間の休日を71日として算出



(2) 目標事業量

| | | | |
|--------------------|-----|-----|---------------------|
| | 定員 | 箇所数 | 2005年～2008年 利用実績 |
| 2009年4月1日 現在の定員 | 20人 | 1箇所 | |
| 2014年度目標事業量 | 20人 | 1箇所 | |

1日平均
7.3人

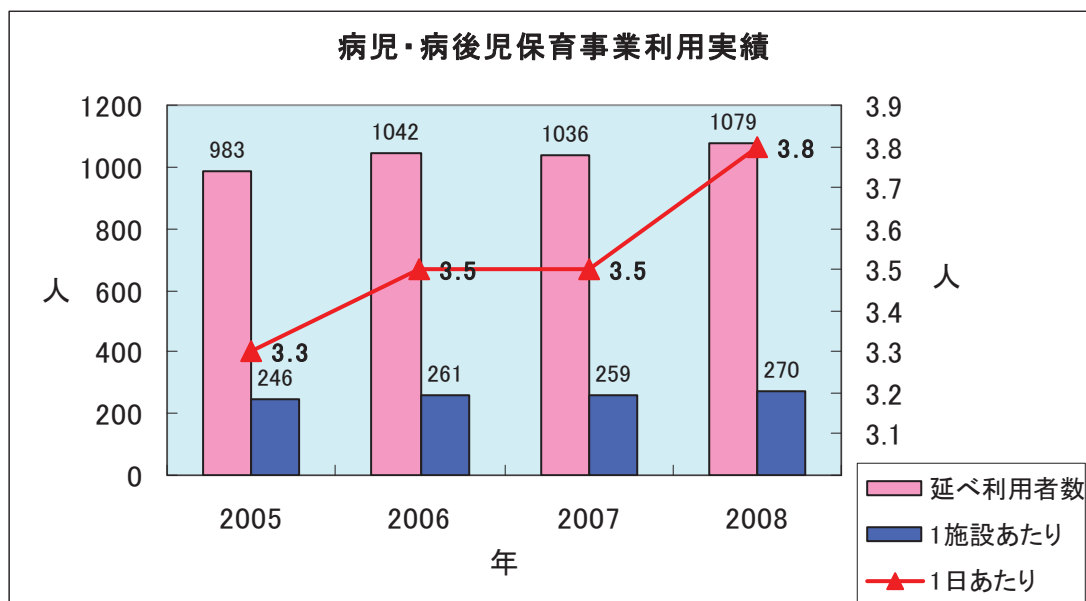
* 目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

6. 病児・病後児保育事業

病児・病後児保育事業とは、病中又は病気の回復期のお子さんを、保育所・医療機関等に付属して設けられた専用スペース等でお預かりする保育サービスです。町田市では、病児保育は「はやしくクリニック病児保育室」で、病後児保育は「小野路保育園第一分園病後児保育室つくし組」、「ききょう保育園病後児保育室ひまわり」、「高ヶ坂ふたば保育園病後児保育室こすもす」の病児保育1箇所、病後児保育3箇所の計4箇所で行っています。

(1) 実績

| 年度 | 施設数 | 年間のべ利用者数 | 1日平均利用者数 | 利用可能人数 |
|--------|-----|----------|----------|--------|
| 2005年度 | 4箇所 | 983人 | 3.3人 | 16人 |
| 2006年度 | 4箇所 | 1,041人 | 3.5人 | 16人 |
| 2007年度 | 4箇所 | 1,036人 | 3.5人 | 16人 |
| 2008年度 | 4箇所 | 1,079人 | 3.8人 | 16人 |



(2) 目標事業量

| | 利用可能日数 | 箇所数 | 2005 年～2008 年 利用実績 |
|---------------|---------|------|-----------------------|
| 2009 年度利用可能日数 | 4,704 日 | 4 箇所 | 1 日平均 3.5 人 |
| 2014 年度目標事業量 | 4,704 日 | 4 箇所 | 年間利用者数平均 1,035 人 |

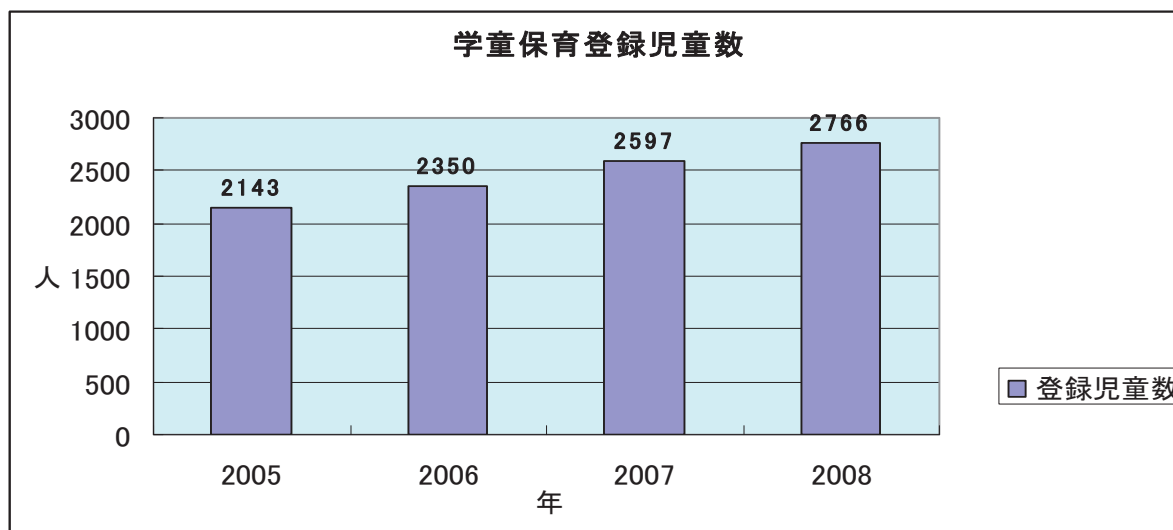
*目標事業量は、国の指定により日数で算出しています。

4,704 日は、年間開所日数 294 日×定員 4 名×施設数 4 箇所、年間の受け入れ可能な合計日数を算出しています。

7. 放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ）

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）とは、保護者が就労等により、昼間家庭にいないおおむね 10 歳未満の小学生を対象に、授業終了後、組織的に指導を行い、学童の事故防止と心身の健全な育成を図る事業です。

(1) 実績



学童保育クラブの登録児童数は年々増加の傾向にあります。町田市では、1 小学校区に 1 学童保育クラブを設置するという目標は達成しました。今後は大規模学童保育クラブのあり方など、実状に即して検討していきます。

(2) 目標事業量

| | 定員（児童数） | 実施箇所 |
|-------------------------|---------|-------|
| 2009 年 4 月 1 日 現在の定員 | 3,125 人 | 42 箇所 |
| 2014 年度目標事業量 | 3,665 人 | 43 箇所 |

8. 地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

地域子育て支援拠点事業とは、地域において、子育て親子の交流の促進や子育てに関する相談、情報の提供等を行う子育て支援の拠点を設置・促進する事業です。町田市では、公立保育園（地域子育てセンター）7園、法人立保育園 15園、集いのひろば2箇所（カングルーポック・ききょう保育園のあじさい広場）で実施しています。

（1）実績

| | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|
| 法人立保育園 | 13 | 13 | 12 | 15 |
| 公立保育園 （地域子育てセンター） | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 集いのひろば | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 合計 | 21 | 21 | 21 | 24 |

（2）目標事業量

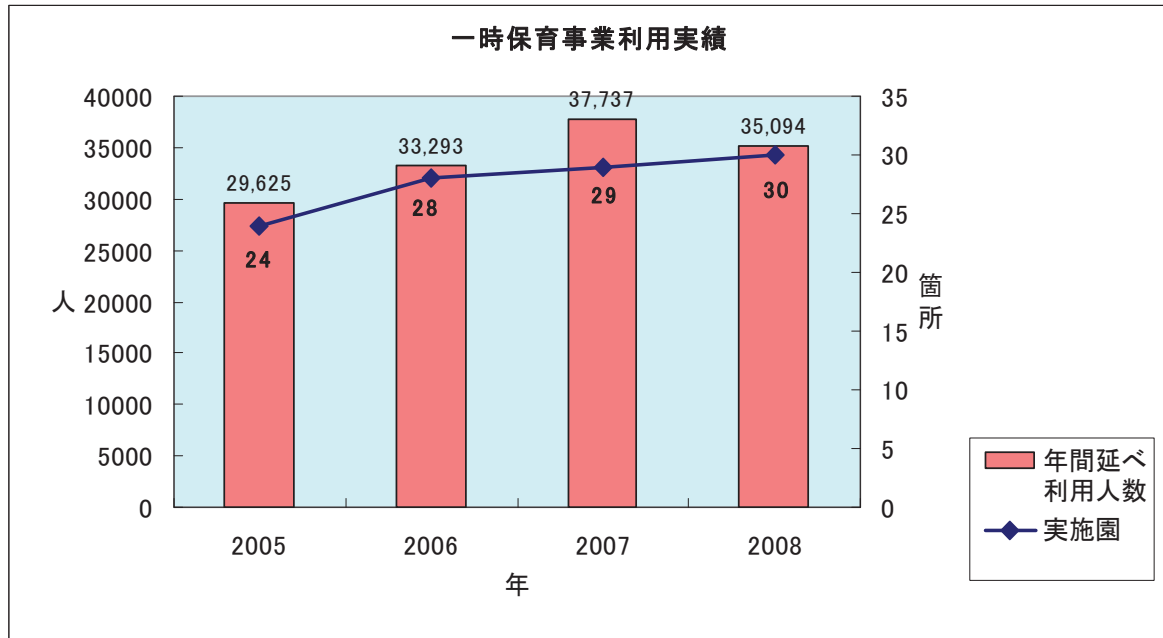
| | 実施箇所 |
|---------------------|------|
| 2009年4月1日 現在実施箇所 | 24箇所 |
| 2014年度目標事業量 | 33箇所 |

*目標事業量は、実績を考慮し、設定しています。

9. 一時預かり事業

一時預かり事業とは、日中、家庭での保育が一時的に困難になった場合、保育所等で、一時的にお子さんをお預かりする事業です。町田市では、33 箇所の保育所で一時預かり事業を行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

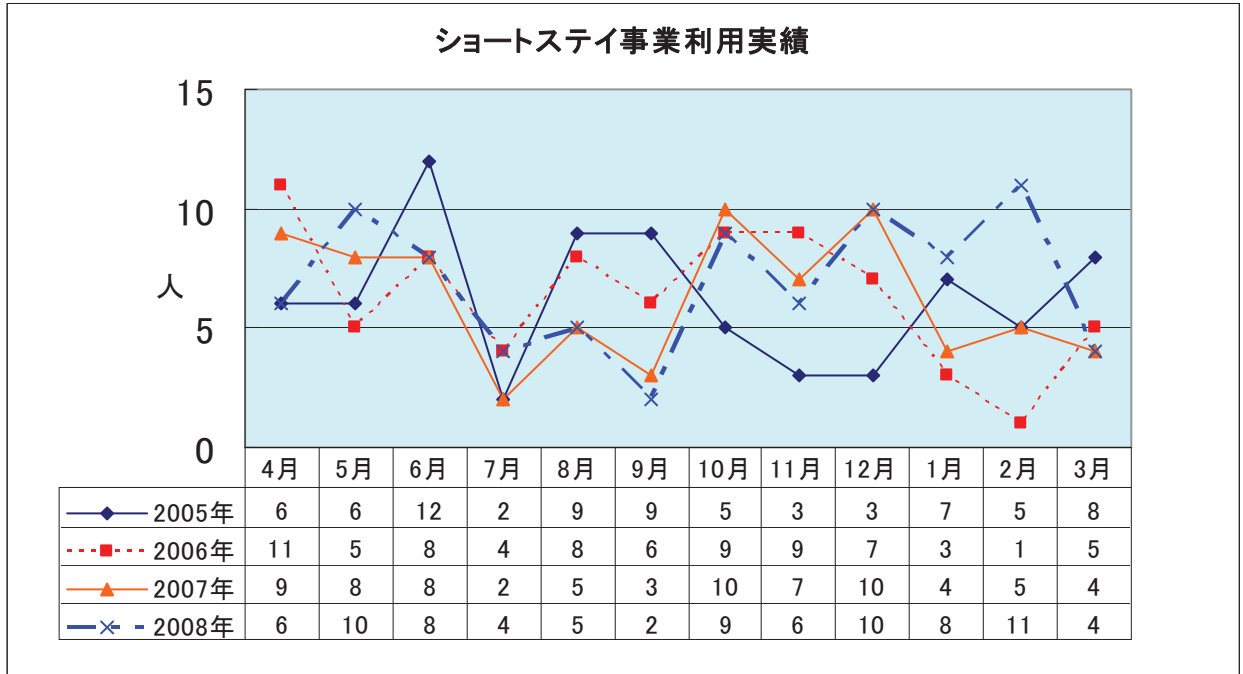
| | 受け入れ可能日数 | 実施箇所 |
|------------------|----------|-------|
| 2009 年 4 月 1 日現在 | 48,510 日 | 33 箇所 |
| 2014 年度目標事業量 | 57,330 日 | 39 箇所 |

* 目標事業量は、実績を考慮し、設定しています。

10. ショートステイ事業

ショートステイ事業とは、保護者の方が病気・冠婚葬祭・事故・出産等で一時的にお子さんを保育できない時に、宿泊でお預かりする事業です。町田市では、ショートステイの家「マルガリータ」で行っています。

(1) 実績



(2) 目標事業量

| | 日数 | 実施箇所 | 2005年～2008年 利用日数 |
|-------------|------|------|---------------------|
| 2009年実施予定 | 250日 | 1箇所 | 平均 290日 |
| 2014年度目標事業量 | 438日 | 1箇所 | |

*目標事業量は実績を考慮し、設定しています。

<説明>

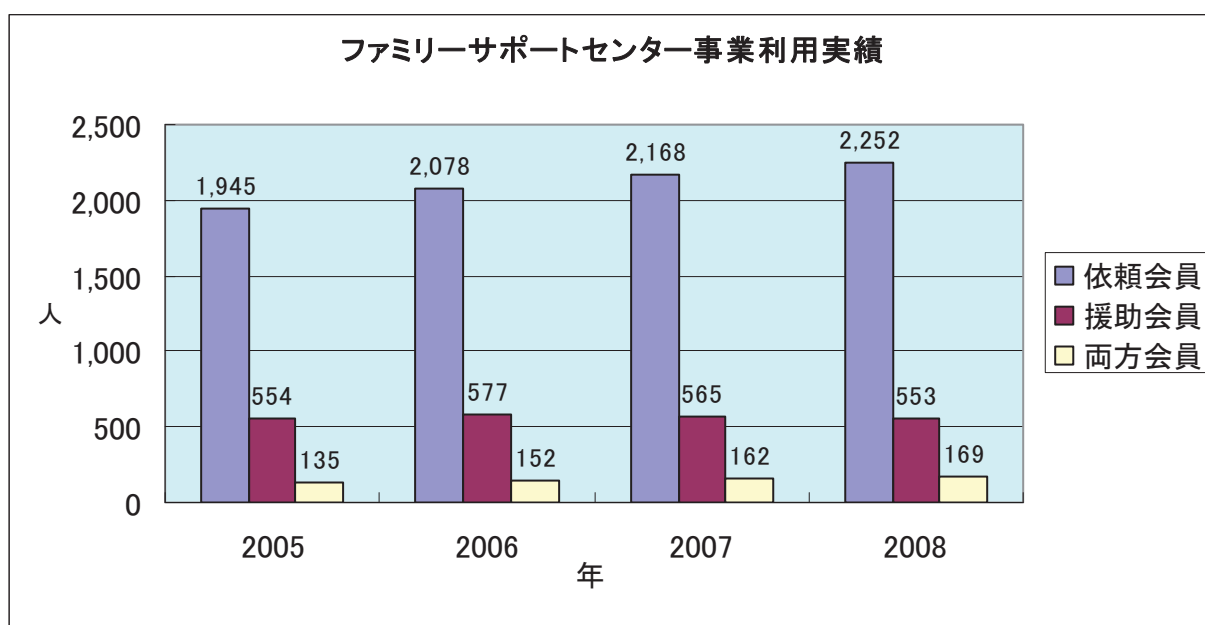
ショートステイの目標事業量は、子ども家庭支援センターが行う、所定の算出方式により得た利用率で算出しています。1泊2日の利用を2日と計算しますので、年間365日より多い数値になります。

11. ファミリーサポートセンター事業

ファミリーサポートセンター事業とは、「育児の援助を行う人（提供会員）」と「育児の援助を受ける人（依頼会員）」が会員となり、保育所終了後の時間や外出の際などに、提供会員の自宅で子どもを預かる、有償のボランティア事業です。

(1) 実績

| 年度 | 依頼会員 | 援助会員 | 両方会員 | 利用件数 |
|---------|---------|-------|-------|----------|
| 2005 年度 | 1,945 人 | 554 人 | 135 人 | 14,898 件 |
| 2006 年度 | 2,078 人 | 577 人 | 152 人 | 15,693 件 |
| 2007 年度 | 2,168 人 | 565 人 | 162 人 | 15,056 件 |
| 2008 年度 | 2,252 人 | 553 人 | 169 人 | 16,452 件 |



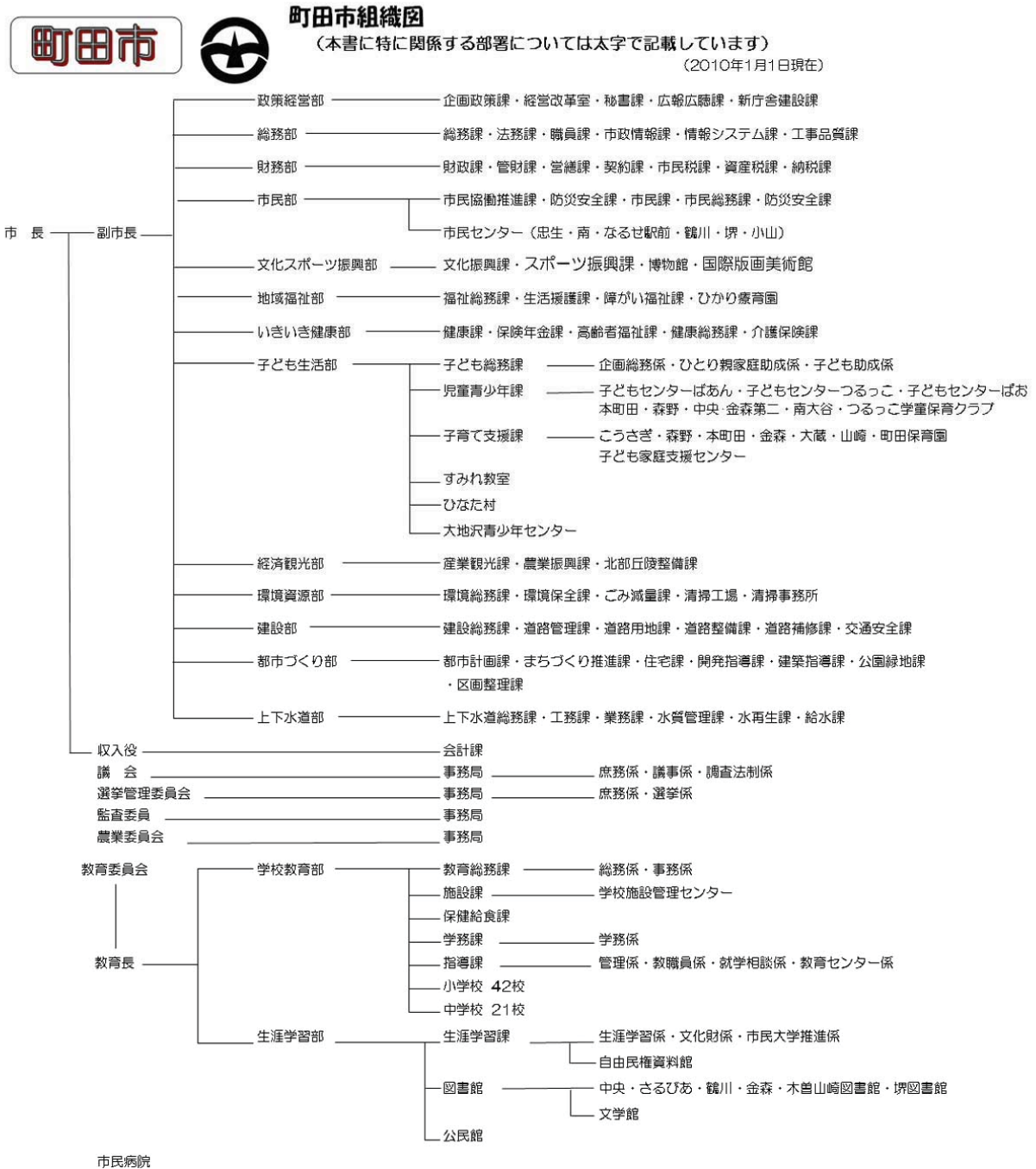
(2) 目標事業量

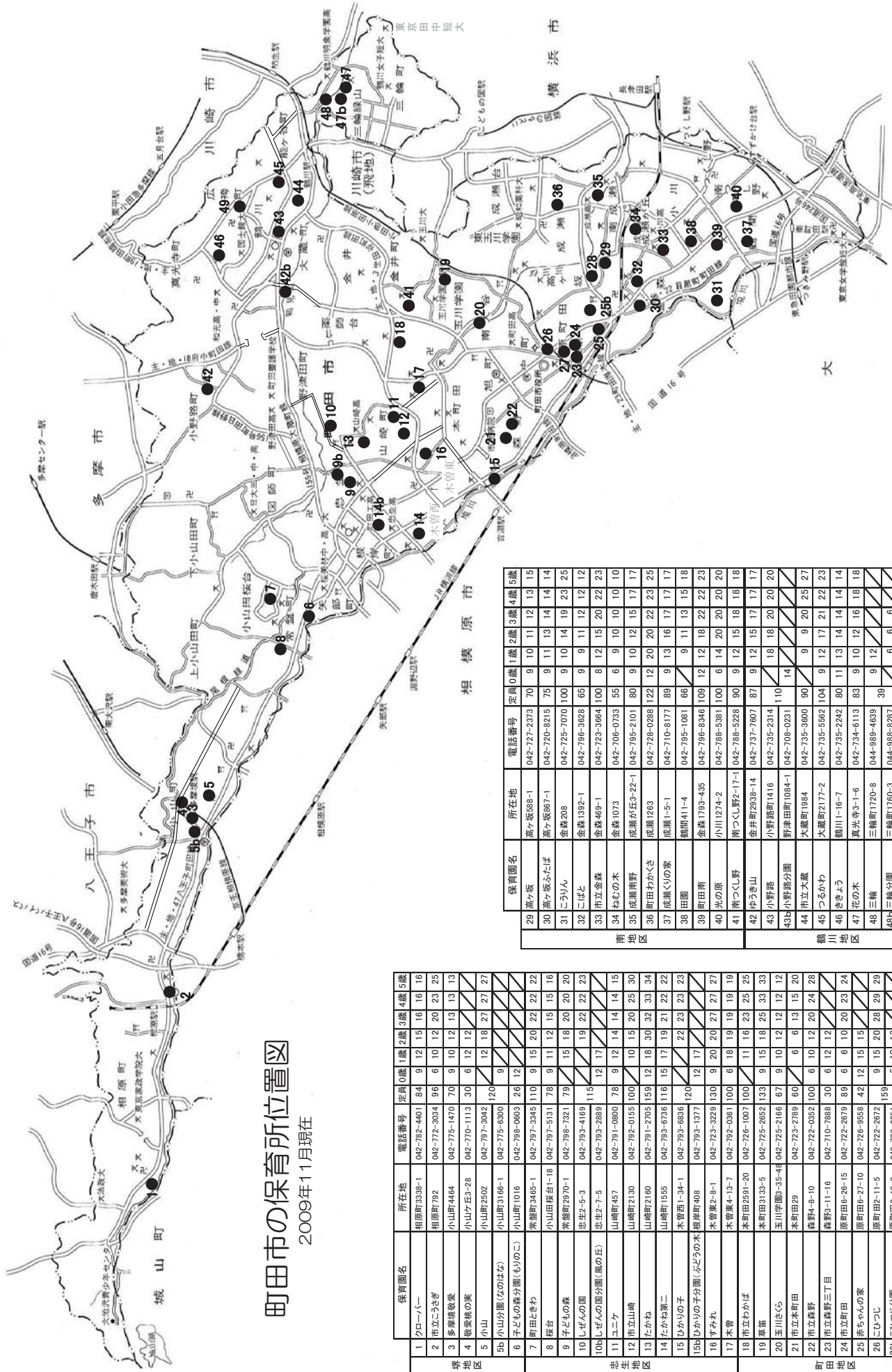
| | 実施箇所 |
|--------------|------|
| 2009 年実施箇所 | 1 箇所 |
| 2014 年度目標事業量 | 1 箇所 |

ファミリーサポートセンターの依頼会員や利用件数は年々増加の傾向にあります。今後は事業実績の推移を見ながら検討していきます。

※目標事業量は実績を考慮し設定しています。

6. 町田市の組織





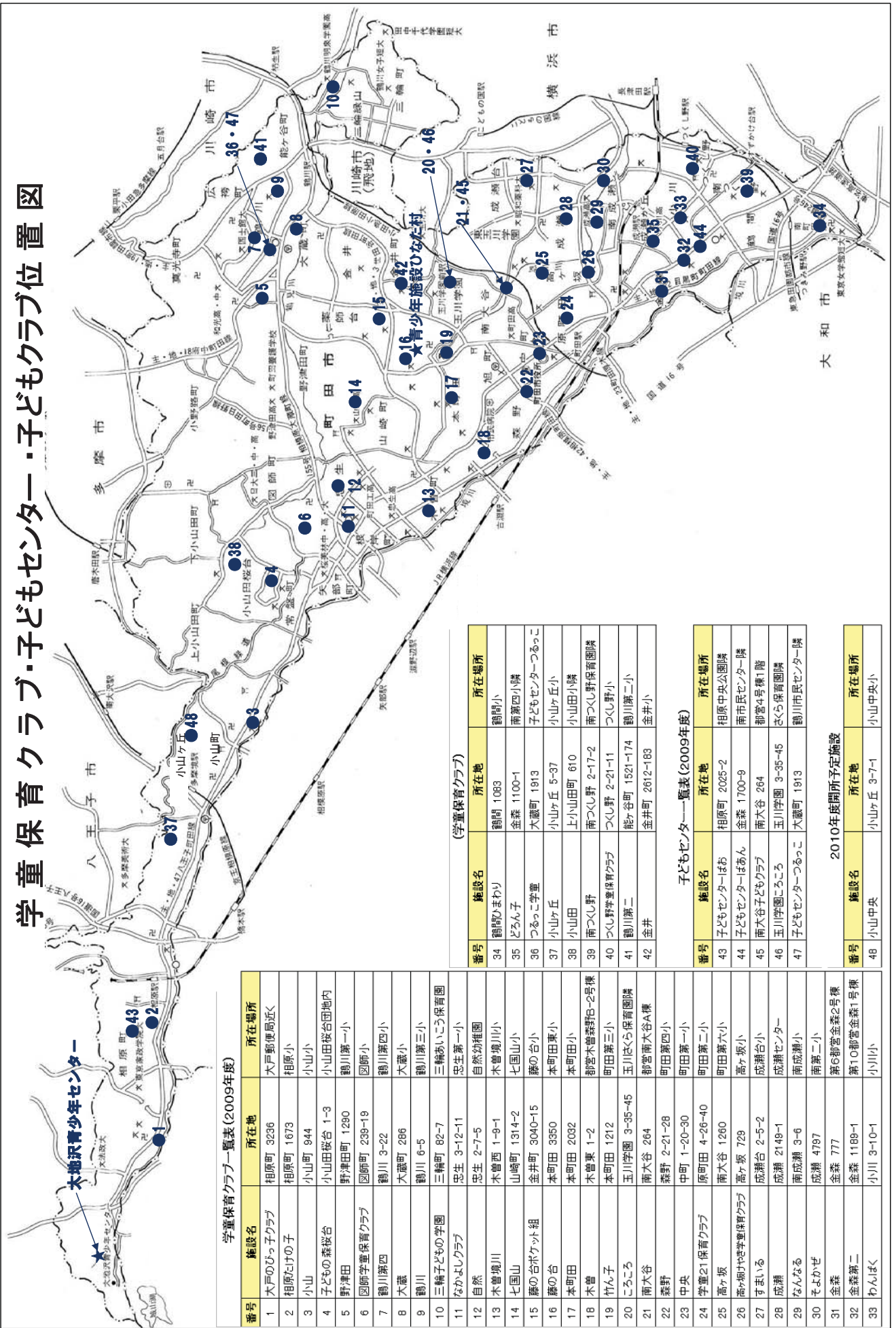
町田市の保育所位置図

2009年11月現在

| 保育園名 | 所在地 | 電話番号 | 定員0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 |
|--------------------|-------------|--------------|------|----|----|----|----|----|
| 1 クローバー | 相模原3338-1 | 042-782-4401 | 84 | 9 | 12 | 15 | 16 | 16 |
| 2 市立こうぞぎ | 相模原792 | 042-772-3034 | 96 | 6 | 10 | 12 | 20 | 23 |
| 3 多摩児童園 | 小山4464 | 042-775-1470 | 70 | 9 | 10 | 12 | 13 | 13 |
| 4 歌登緑の美 | 小山ヶ丘3-28 | 042-770-1113 | 30 | 6 | 12 | 12 | 12 | 27 |
| 5 小山 | 小山2502 | 042-787-3042 | 120 | 9 | 12 | 18 | 27 | 27 |
| 5b 小山分園(なほのほ) | 小山町3166-1 | 042-775-6300 | 120 | 9 | 12 | 18 | 27 | 27 |
| 6 子どもの森分園(むりのこ) | 小山町1016 | 042-788-0803 | 26 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 7 町田とぎわ | 常盤町3465-1 | 042-787-3345 | 110 | 9 | 15 | 20 | 22 | 22 |
| 8 桜台 | 小山田桜台1-18 | 042-787-5181 | 78 | 9 | 11 | 12 | 15 | 15 |
| 9 子どもの森 | 常盤町2970-1 | 042-788-7321 | 79 | 15 | 18 | 20 | 20 | 20 |
| 10 じぎの園 | 相生2-5-3 | 042-783-4189 | 115 | 12 | 17 | 17 | 22 | 23 |
| 10b じぎの園分園(風の丘) | 相生2-7-5 | 042-783-2889 | 12 | 17 | 17 | 17 | 22 | 23 |
| 11 ユニテ | 山崎町457 | 042-791-0800 | 78 | 9 | 12 | 14 | 14 | 14 |
| 12 市立山崎 | 山崎町2130 | 042-792-0165 | 100 | 10 | 15 | 20 | 25 | 30 |
| 13 たかね | 山崎町2180 | 042-791-2705 | 159 | 12 | 18 | 30 | 32 | 33 |
| 14 たかね第二 | 山崎町1555 | 042-793-6736 | 116 | 15 | 17 | 19 | 21 | 22 |
| 15 ひかりの子 | 本郷西1-34-1 | 042-793-6836 | 120 | 12 | 17 | 17 | 22 | 23 |
| 15b ひかりの子分園(ふどうの木) | 本郷町408 | 042-793-1377 | 12 | 17 | 17 | 17 | 22 | 23 |
| 16 すかれ | 本郷東2-9-1 | 042-793-3229 | 130 | 9 | 20 | 20 | 27 | 27 |
| 17 木曾 | 本郷東4-13-7 | 042-792-0361 | 100 | 6 | 18 | 19 | 19 | 19 |
| 18 市立わかば | 本町田2591-20 | 042-726-1007 | 100 | 11 | 16 | 23 | 25 | 25 |
| 19 草薙 | 本町田3133-5 | 042-725-2652 | 133 | 9 | 15 | 18 | 23 | 33 |
| 20 玉川くら | 玉川学園0-35-48 | 042-725-2166 | 67 | 9 | 10 | 12 | 12 | 12 |
| 21 市立本町田 | 本町田29 | 042-723-2789 | 80 | 6 | 6 | 13 | 15 | 20 |
| 22 市立東野 | 東野4-8-10 | 042-792-0352 | 100 | 6 | 10 | 12 | 20 | 28 |
| 23 市立東野三丁目 | 東野3-11-16 | 042-710-7888 | 30 | 6 | 12 | 12 | 20 | 23 |
| 24 市立立田 | 原町田6-26-15 | 042-722-2679 | 89 | 6 | 10 | 20 | 23 | 24 |
| 25 赤毛の家の | 原町田6-27-10 | 042-726-6568 | 42 | 12 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 26 こひつじ | 原町田2-11-5 | 042-722-2672 | 159 | 9 | 15 | 20 | 28 | 29 |
| 26b こひつじ分園 | 原町田2-10-3 | 042-739-2251 | 6 | 10 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 27 未来保育園CLUB | 中町1-31-4 | 042-729-8228 | 75 | 8 | 9 | 13 | 15 | 15 |
| 28 なごみ | 原町田5-1-5 | 042-724-0783 | 87 | 6 | 15 | 15 | 17 | 17 |

| 保育園名 | 所在地 | 電話番号 | 定員0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 |
|-----------|-------------|--------------|------|----|----|----|----|----|
| 29 高ヶ坂 | 高ヶ坂888-1 | 042-727-2373 | 70 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 30 高ヶ坂ふたば | 高ヶ坂887-1 | 042-720-8215 | 75 | 9 | 11 | 13 | 14 | 14 |
| 31 こうらん | 金栗208 | 042-725-7070 | 100 | 9 | 10 | 14 | 19 | 25 |
| 32 こぼと | 金栗1392-1 | 042-796-9828 | 65 | 9 | 9 | 11 | 12 | 12 |
| 33 市立金栗 | 金栗469-1 | 042-723-3664 | 100 | 8 | 12 | 15 | 20 | 22 |
| 34 ねむの木 | 金栗1073 | 042-706-0733 | 55 | 6 | 9 | 10 | 10 | 10 |
| 35 成瀬南野 | 成瀬が丘3-22-1 | 042-795-2101 | 80 | 9 | 10 | 12 | 15 | 17 |
| 36 町田わかさ | 成瀬1263 | 042-726-0288 | 122 | 12 | 20 | 20 | 22 | 23 |
| 37 成瀬くりの歌 | 成瀬1-5-1 | 042-710-8177 | 89 | 9 | 13 | 16 | 17 | 17 |
| 38 田園 | 鶴岡411-4 | 042-795-1081 | 66 | 9 | 11 | 13 | 15 | 18 |
| 39 町田南 | 金栗1793-435 | 042-796-9346 | 109 | 12 | 12 | 18 | 22 | 23 |
| 40 光の原 | 小山1274-2 | 042-788-5381 | 100 | 6 | 14 | 20 | 20 | 20 |
| 41 南つくし野 | 南つくし野2-17-1 | 042-768-5228 | 90 | 9 | 12 | 15 | 18 | 18 |
| 42 ゆうき山 | 金井町2938-14 | 042-737-7607 | 87 | 9 | 12 | 15 | 17 | 17 |
| 43 小野路 | 小野路町1416 | 042-735-5314 | 110 | 14 | 18 | 18 | 20 | 20 |
| 43b 小野路分園 | 野津田町1084-1 | 042-708-0231 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 |
| 44 市立大蔵 | 大蔵町1984 | 042-735-3600 | 90 | 9 | 9 | 20 | 25 | 27 |
| 45 つるかわ | 大蔵町2177-2 | 042-735-5352 | 104 | 9 | 12 | 17 | 21 | 22 |
| 46 ききょう | 鶴川1-16-7 | 042-735-2242 | 80 | 11 | 13 | 14 | 14 | 14 |
| 47 花の木 | 真光第3-1-6 | 042-734-6113 | 83 | 9 | 10 | 12 | 16 | 18 |
| 48 三輪 | 三輪町1720-8 | 044-989-4639 | 39 | 9 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 48b 三輪分園 | 三輪町1700-3 | 044-988-8287 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| 49 三輪あいこ | 三輪町82-7 | 044-987-9871 | 72 | 15 | 15 | 15 | 21 | 21 |
| 50 東平まわり | 広野町543-1 | 042-736-2266 | 100 | 9 | 14 | 17 | 20 | 20 |

学童保育クラブ・子どもセンター・子どもクラブ位置図



学童保育クラブ一覧表(2009年度)

| 番号 | 施設名 | 所在地 | 所在場所 |
|----|-------------|--------------|-------------|
| 1 | 大戸のひっ子クラブ | 相原町 3236 | 大戸郵便局近く |
| 2 | 相原たけの子 | 相原町 1673 | 相原小 |
| 3 | 小山 | 小山町 944 | 小山小 |
| 4 | 子どもの森桜台 | 小山田桜台 1-3 | 小山田桜台団地内 |
| 5 | 野津田 | 野津田町 1290 | 鶴川第一小 |
| 6 | 図師学童保育クラブ | 図師町 239-19 | 図師小 |
| 7 | 鶴川第四 | 鶴川 3-22 | 鶴川第四小 |
| 8 | 大蔵 | 大蔵町 286 | 大蔵小 |
| 9 | 鶴川 | 鶴川 6-5 | 鶴川第三小 |
| 10 | 三輪子どもの学園 | 三輪町 82-7 | 三輪あいこ保育園 |
| 11 | なかよしクラブ | 忠生 3-12-11 | 忠生第一小 |
| 12 | 自然 | 忠生 2-7-5 | 自然幼稚園 |
| 13 | 木曾境川 | 木曾西 1-9-1 | 木曾境川小 |
| 14 | 七国山 | 山崎町 1314-2 | 七国山小 |
| 15 | 藤の台ポケット組 | 金井町 3040-15 | 藤の台小 |
| 16 | 藤の台 | 本町田 3350 | 本町田東小 |
| 17 | 本町田 | 本町田 2032 | 本町田小 |
| 18 | 木曾 | 木曾東 1-2 | 郡営木曾森野B-2号棟 |
| 19 | 竹ん子 | 本町田 1212 | 町田第三小 |
| 20 | ところ | 玉川学園 3-35-45 | 玉川はぐら保育園隣 |
| 21 | 南大谷 | 南大谷 264 | 郡営南大谷A棟 |
| 22 | 森野 | 森野 2-21-28 | 町田第四小 |
| 23 | 中央 | 中町 1-20-30 | 町田第一小 |
| 24 | 学童21保育クラブ | 原町田 4-26-40 | 町田第二小 |
| 25 | 高ヶ坂 | 南大谷 1260 | 町田第六小 |
| 26 | 高ヶ坂幼稚園保育クラブ | 高ヶ坂 729 | 高ヶ坂小 |
| 27 | すまいる | 成瀬台 2-5-2 | 成瀬台小 |
| 28 | 成瀬 | 成瀬 2149-1 | 成瀬センター |
| 29 | なんなる | 南成瀬 3-6 | 南成瀬小 |
| 30 | そよかぜ | 成瀬 4787 | 南第二小 |
| 31 | 金森 | 金森 777 | 第6郡営金森2号棟 |
| 32 | 金森第二 | 金森 1189-1 | 第10郡営金森1号棟 |
| 33 | わんぱく | 小川 3-10-1 | 小川小 |

(学童保育クラブ)

| 番号 | 施設名 | 所在地 | 所在場所 |
|----|-------------|---------------|------------|
| 34 | 鶴間むまわり | 鶴間 1083 | 鶴間小 |
| 35 | どろん子 | 金森 1100-1 | 南第二小隣 |
| 36 | つるこ学童 | 大蔵町 1813 | 子どもセンターつるこ |
| 37 | 小山ヶ丘 | 小山ヶ丘 5-37 | 小山ヶ丘小 |
| 38 | 小山田 | 上小山田町 610 | 小山田小隣 |
| 39 | 南つくし野 | 南つくし野 2-17-2 | 南つくし野保育園隣 |
| 40 | つくし野学童保育クラブ | つくし野 2-21-11 | つくし野小 |
| 41 | 鶴川第二 | 能ヶ谷町 1521-174 | 鶴川第二小 |
| 42 | 金井 | 金井町 2612-183 | 金井小 |

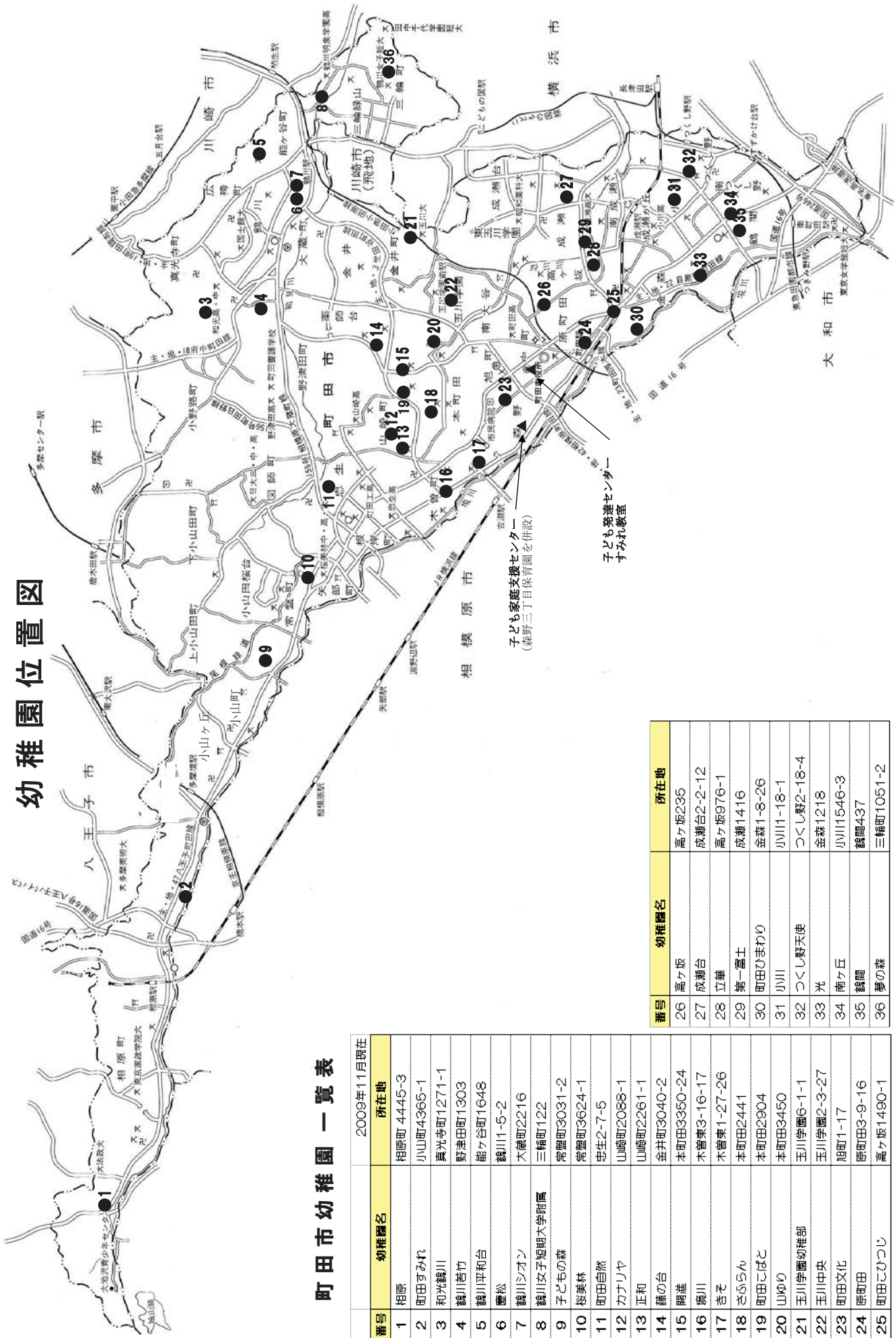
子どもセンター一覧表(2009年度)

| 番号 | 施設名 | 所在地 | 所在場所 |
|----|------------|--------------|-----------|
| 43 | 子どもセンターはあ | 相原町 2025-2 | 相原中央公園隣 |
| 44 | 子どもセンターはあん | 金森 1700-9 | 南市民センター隣 |
| 45 | 南大谷子どもクラブ | 南大谷 264 | 郡営4号棟1階 |
| 46 | 玉川学園こころ | 玉川学園 3-35-45 | さくら保育園隣 |
| 47 | 子どもセンターつるこ | 大蔵町 1813 | 鶴川市民センター隣 |

2010年度開所予定施設

| 番号 | 施設名 | 所在地 | 所在場所 |
|----|------|------------|-------|
| 48 | 小山中央 | 小山ヶ丘 3-7-1 | 小山中央小 |

幼稚園位置図



町田市幼稚園一覧表

| 番号 | 幼稚園名 | 所在地 | 2009年11月現在 |
|----|------------|-------------|------------|
| 1 | 相原 | 相原町 4445-3 | |
| 2 | 町田すみれ | 小山町 4365-1 | |
| 3 | 和光鶴川 | 真光寺町 1271-1 | |
| 4 | 鶴川若竹 | 野津田町 1303 | |
| 5 | 鶴川平和台 | 能ヶ台町 1648 | |
| 6 | 豊松 | 鶴川1-5-2 | |
| 7 | 鶴川シオン | 大蔵町 2216 | |
| 8 | 鶴川女子短期大学附属 | 三輪町 122 | |
| 9 | 子どもの森 | 常盤町 3031-2 | |
| 10 | 杉美林 | 常盤町 3624-1 | |
| 11 | 町田自然 | 忠生2-7-5 | |
| 12 | カナリヤ | 山崎町 2088-1 | |
| 13 | 正和 | 山崎町 2261-1 | |
| 14 | 藤の台 | 金井町 3040-2 | |
| 15 | 開進 | 本町田 3350-24 | |
| 16 | 徳川 | 木曾東3-16-17 | |
| 17 | きそ | 木曾東1-27-26 | |
| 18 | さくらん | 本町田 2441 | |
| 19 | 町田こぼと | 本町田 2904 | |
| 20 | 山ゆり | 本町田 3450 | |
| 21 | 玉川学園幼稚園部 | 玉川学園 6-1-1 | |
| 22 | 玉川中央 | 玉川学園 2-3-27 | |
| 23 | 町田文化 | 旭町 1-17 | |
| 24 | 原町田 | 原町田 3-9-16 | |
| 25 | 町田こひつし | 高ヶ坂 1490-1 | |

| 番号 | 幼稚園名 | 所在地 |
|----|--------|-------------|
| 26 | 高ヶ坂 | 高ヶ坂 235 |
| 27 | 成瀬台 | 成瀬台 2-2-12 |
| 28 | 立華 | 高ヶ坂 976-1 |
| 29 | 第一富士 | 成瀬 1416 |
| 30 | 町田ひまわり | 金森 1-8-26 |
| 31 | 小川 | 小川 1-18-1 |
| 32 | つくし野天使 | つくし野 2-18-4 |
| 33 | 光 | 金森 1218 |
| 34 | 南ヶ丘 | 小川 1546-3 |
| 35 | 鶴岡 | 鶴岡 437 |
| 36 | 夢の森 | 三輪町 1051-2 |

本書に対するご意見等ございましたら、下記の子ども総務課までお寄せください。

まちだの子ども施策 2009年度

| | |
|-------|---|
| 発行年月 | 2010年11月 |
| 刊行物番号 | 10-56 |
| 発行 | 町田市 〒194-8520 町田市中町 1-20-23 TEL 042-722-3111 (代表) |
| 編集 | 子ども生活部子ども総務課 TEL 042-724-2876 (直通) |